

平成28年度 第3期和泉市男女共同参画行動計画(オアシスプラン)施策及び実績報告

基本目標 I 男女平等の意識を育む施策の方向 施策の方向 1 学校・園における男女平等教育の推進

施策① 男女平等教育の推進

No	事業
1	各幼稚園・学校や保育所で、男女平等教育推進計画並びに保育計画を策定し、園や学校、保育活動での取組、教職員等の研修、保護者への働きかけ等を積極的に推進し、教育・保育環境を整備します。 ◆保育計画に基づく人権の視点からの男女平等教育の実践と共有 ◆人権教育推進計画に基づく教育活動の取組とその評価・公表 ◆ユニバーサル・デザインに基づく学校施設の整備・改善

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない ① 評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課	
		1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持				
・色やおもちゃや・遊び等において、男女による区別がないように取り組み、子どもたちが思いのまま感じられるようにした。(色の選択、遊びの選択、順番決定時、劇遊びの配役等) ・「男は…」 「女は…」等の発言がある場合は、子どもたちと一緒に考える場をもち、子どもたち自身が男女平等ということに気づけるようにした。	1	3	1	1	1	長年、日常の保育・教育の場面で取り組みを継続している。	2	こども未来室
各小・中学校で男女平等教育推進計画を含む人権教育推進計画を策定し、それに基づいた教育活動を推進した。	1	3	3	1	1	男女平等教育を推進するため、引き続き人権教育推進計画を策定するとともに、実績報告の内容をさらに分析し、今後の課題を焦点化する。	2	教育委員会指導室
学校施設について利用者への配慮も含め可能な限りユニバーサル・デザインを取り入れた。1例としては、トイレの男女別の標識について「コダイ・ロマン」で表示した。しかし、高齢者や初めて学校に来校した保護者などからはわかりにくいとの指摘もある。	1	3	1	1	1	学校施設を利用する市民に利用しやすい環境整備を優先する必要がある。ユニバーサル・デザインに基づく視点をどの程度取り入れるかが課題である。	2	教育委員会教育総務室

No	事業
2	「男女平等教育推進モデル校(園)」においては、当事者である子どもと教職員への振り返り調査を実施し、男女平等教育モデル校(園)での成果を1年ごとにまとめ、公表するとともに、次年度の取組に活かします。 ◆モデル校の実践の発信

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない ① 評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課	
		1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持				
推進モデル校園(北松尾小学校、緑ヶ丘小学校、石尾中学校)が取組みをまとめた冊子を作成し、小中学校に配付した。	1	2	1	1	1	今まであまり取り組まれていなかった「LGBT」についての理解が進んできた。	2	教育委員会指導室

No	事業
3	<p>教職員や保護者等が、デートDVや性犯罪(児童ポルノや児童虐待等)等についての認識を深めることができるよう情報提供します。</p> <p>◆教職員、保護者、子どもなど対象者に応じて選択し、大阪府から提供のポスター、パンフレット、データを提供</p> <p>◆男女共同参画社会づくり講座の実施</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持も進まなかった			
大阪府府民文化部男女参画・府民協働課政策主催の「府内学校教職員のための研修」の広報を行い、教職員に周知した。	1	3	1	1	府からの資料を配付するだけでなく、府の研修で学んだことを伝達するなど、積極的に情報提供する。	2	教育委員会指導室
「女性に対する暴力をなくす運動」期間に桃山学院大学法学部と共催し、デートDVを啓発するため、講演会を対象の年代の大学生が参加しやすい大学構内で実施した。 タイトル: デートDV 好きって気持ちでごまかしてない? 縛られてない? 開催日: 平成28年11月18日(金) 参加人数: 129人/200人定員	1	1	1	1	今年度においては、桃山学院大学の学生に対しデートDVについて講演を行い啓発を行った。今後においても、若い世代に対し啓発をおこなっていく。	2	人権・男女参画室

No	事業
4	<p>教職員や保護者等が、性的マイノリティ等についての認識を深めることができるよう情報提供します。</p> <p>◆学校に向けて文部科学省等からの啓発物等を提供</p> <p>◆男女共同参画センターの図書コーナー等での啓発</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持も進まなかった			
・文部科学省からの「性同一性障害や性的指向・性自認に係る、児童生徒に対するきめ細かな対応等の実施について」教職員向け周知資料を、学校に情報提供を行い、その活用について周知を図った。 ・学校園の担当者及び管理職対象に、「性別違和(性同一性障害)の生徒に対する取組みについて」という題で、対象児童生徒に対して取組んだ実践を、当該校の学校長から講演していただいた。当日は、59名の教職員が参加し、LGBTについての理解を深めた。	1	1	1	1	LGBTについての理解を深めるための取組みをさらにしていく。	2	教育委員会指導室
性的マイノリティ関連情報を収集し、モアいずみ(和泉市男女共同参画センター)の掲示板に掲示し、啓発を行った。 また、男女共同参画センター図書コーナーにおいて、世界初の性別適合手術を受けたリリーの伝記映画であるDVD「リリーのすべて」等の貸出を行った。	2	2	1	1	今後も引き続き、情報収集に努め、一層の啓発を図る。	2	人権・男女参画室

No	事業
5	<p>自らの身体と相手方の身体について正しい理解を深め、性に関する適切な態度や行動の選択ができるよう、発達段階に応じた性教育に取り組みます。</p> <p>◆保健体育や総合的な時間を利用して性教育を実施</p> <p>◆小中生活指導協議会でのアンケートの実施</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課	
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				4.進まなかった
<p>学習指導要領に基づき、小中9年間を見通した性教育に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校1・2年…生命を大切にすることを(道徳) ・小学校3・4年…体の発育・発達についての理解(保健) ・小学校5・6年…思春期の体の変化や心の発達、不安や悩みへの対処についての理解、男女で助け合うこと(保健・道徳) ・中学校 …生殖機能の成熟、性情報への対処、異性についての正しい理解や人格の尊重(保健・道徳・特活) 	1	3	1	1	1	LGBTにも配慮しながら、取組みを進めていく。	2	教育委員会指導室
<p>和泉市小中生活指導研究協議会事務局で、小学4年生から中学3年生を対象に、性に関する事項を含めた「自分の安全」のアンケートを作成し、全小中学校で実施(9～10月)した。集計結果は学校校務システム内の共有フォルダに保存され、各学校の教員が見られるようになっており、学校通信や生徒指導、長期休業前の保護者等への「休みの過ごし方」啓発文書等で、各校での活用を指示した。</p>	1	3	3	1	1	アンケート結果を分析し、成果や課題を焦点化する。	2	教育委員会指導室

No	事業
6	<p>市民活動等と連携し、子どもたちが暴力の被害者にも加害者にもなることを防ぐための情報や学習機会の提供を定期的に行います。</p> <p>◆教職員対象に人が本来持っている生きる力を湧き出させる研修の実施</p> <p>◆子ども対象の「犯罪防止教室」の実施</p> <p>◆「被害者救済システム」の周知</p> <p>◆保育所・幼稚園における「不審者侵入対処訓練」の実施</p> <p>◆保育所・幼稚園における「こどもたちに伝える5つの約束」の徹底</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課	
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				4.進まなかった
<p>子どもが外出した際に自分の身を守る方法や、携帯電話・スマートフォン等によってトラブルに巻き込まれないようにするための方法について、各学校で子どもたちに確認するように指示した。</p>	1	3	1	1	1	ワークショップ等の手法について、新しい情報を提供していく。	2	教育委員会指導室
<p>全小中学校で、警察や薬剤師会等と連携して「犯罪防止教室」「非行防止教室」「薬物乱用防止教室」等を実施した。</p> <p>小学校では、警察と連携して「非行防止教室」を小5対象に全小学校で実施した。</p> <p>中学校では、警察や少年サポートセンターと連携して「犯罪防止教室」が「非行防止教室」を全中学校で実施した。</p> <p>「薬物乱用防止教室」については、薬剤師会等と連携して全小中学校で実施した。</p>	1	3	3	2	2	今後も全小・中学校で取り組んでいく。	3	教育委員会指導室

校長会や研修の場で、「被害者救済システム」について周知した。学校でのポスター掲示や担任からの連絡を通じて子どもへの周知を行った。	1	2	1	1	1	今後も周知を徹底していく。	2	教育委員会指導室
年間計画のとおり、各園にて、いろいろな場面を想定した不審者侵入対処訓練を実施した。 園外保育時、日常の時間帯、午睡後、土曜日の午後など、いつ起こるか分からない不審者侵入を想定して訓練を実施した。 送迎時には、その場にいる保護者に一緒に参加していただいたり、公園では、まわりにいる人に訓練であることの声かけをして実施し、訓練の様子を知っていただいたりした。	2	3	1	1	1	実施しにくい園外での不審者対処訓練も各園取り組むようになっていく。	2	こども未来室
・「5つの約束」のDVDを平成26年度末に各園に配布しており、視聴した。 ・不審者対処訓練の一つとして、紙芝居・職員劇等で、子どもたちにわかりやすいように伝える。また、その日の子どもたちの様子を保護者に伝え、子どもたちを暴力から守ることの大切さを保護者にも考えていただく機会になるようにした。	2	3	1	1	1	5つの約束の看板ポスターを掲示している。場面場面で伝えている。	2	こども未来室

施策② 一人ひとりの自立・職業意識を育む教育の推進

No	事業
7	キャリア教育をする上で重要な取組という観点に立って職場体験学習を実施するために、教職員に対してキャリア教育に関する情報や学習機会を提供します。 ◆キャリア教育担当者の研修の実施

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施に当たり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
			(1)	(2)	(3)			
・各中学校区でキャリア教育担当者が、全体指導計画の見直し等について検討を行うにあたり、指導主事が指導助言を行った。 ・泉北3市1町キャリア教育担当者研修(2月28日) 講師より「キャリア教育における見取りと点検」をテーマに講義、中学校区の担当者ごとの交流 参加者…和泉市からは25名	1	2	1	1	1	今後も、キャリア教育の指導計画に男女共同参画の視点があるかを確認しながら改善していく。	2	教育委員会指導室

No	事業
8	<p>子どもの発達段階に応じて、性別に捉わられることなく自らの生き方を考え、自分の意志と責任で進路を選択・決定する能力・態度を身につけることができるよう、キャリア教育の指導計画を作成し、それに基づいた進路指導を行います。</p> <p>◆中学校区における「キャリア教育全体指導計画」の策定 ◆中学校への職場体験学習実施のための情報提供</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと持ち取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
 - (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
 - (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
 - (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課	
		1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持				
中学校区単位で策定した「キャリア教育全体指導計画」に基づいた取組みを進め、成果と課題を踏まえて計画の見直し・改善を行った。	1	2	3	2	2	全体指導計画を見直す中で、男女共同参画の視点があるかを確認する。	2	教育委員会指導室
校長会や進路担当者会議(月1回)において、職場体験学習に向けての指導や進路指導について、情報提供及び指示をした。具体的には、市役所内での職場体験について、各中学校の体験実施希望時期や人数を集約し、庁内各課に依頼し行った。また、大型商業施設(ららぽーと、コストコ、ビバホーム)についても、各中学校の体験希望を集約し、商工労働室と連携のもと、様々な事業所に体験を依頼することができた。	1	3	3	1	1	子どもたちが、性別にとらわれることなく自らの生き方を考えることができるよう、職場体験に向けた取組みや進路指導を工夫していく。	2	教育委員会指導室

No	事業
9	<p>特に、女子や障がいのある人について、厳しい就業状況を踏まえ一人ひとりに対応した支援をします。</p> <p>◆支援学校や障がい者施設との連携の充実 ◆日中活動系事業所の情報提供</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと持ち取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
 - (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
 - (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
 - (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課	
		1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持				
校長会や進路指導担当者会議において、将来の就労のために必要な進路情報を周知し指導を行った。また、支援学校、関係機関、障がい者施設との連携の充実に努めた。	1	3	1	1	1	支援学校と定期的な連絡会を行い、対象生徒の情報共有と、将来の就労に向けた支援について連携ができた。	2	教育委員会指導室
基幹相談支援センター・相談支援事業所等において、日中活動系事業所に通所を希望する障がい者等に情報提供やその他の支援を行った。また、就労を希望される場合には、障害者就業・生活支援センターを紹介するなど、希望に応じた支援をした。また、基幹相談支援センターと委託相談支援事業所3ヶ所で相談を受けた人数は合計910人(実人数)であり、うち、福祉サービスの利用等に関する支援が4,711件(延べ)、同行支援が93件(延べ)となっている。	2	3	3	1	1	引き続き、障がいのある方が通所等を希望される場合には、適切に支援をする。	2	障がい福祉課

No	事業
10	市役所においてインターンシップを受け入れます。 ◆インターンシップ事業 ◆桃山学院大学生インターンシップの受け入れ

【今年度の事業の実施度】
1.男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4.実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
(1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】				事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持	4.進まなかった				
堺・南大阪地域インターンシップ推進協議会との連携により、帝塚山学院大学、大阪府立大学の学生2名を下記のとおりインターンシップとして受け入れた。 政策企画室・・・平成28年8月 8日～15日(女性1名) 読書振興課・・・平成28年8月18日～23日(女性1名)	2	3	1	1	1	事業予定のとおり堺・南大阪地域インターンシップ推進協議会との連携により2名のインターンシップの受け入れを行い、施策の推進に寄与した。	2	人事課	
実習期間:H28年8月1日～8月14日 実習場所:モアいずみ(和泉市男女共同参画センター) 男子学生:1人 実習内容:わくわくシネマの司会や講座の準備等の業務に携わる。	1	3	3	2	2	今後も生涯学習センターからの要望があれば、引き続き取り組む。	2	人権・男女参画室	
和泉シティプラザ内において、指定管理先である公共施設管理公社が桃山学院大学生のインターンシップの受け入れを行い、平成28年度は女性1名、男性1名の受け入れを行った。女性1名はシティプラザ図書館にて窓口業務等の事務補助、男性1名は、生涯学習センターにて窓口業務等の事務補助の業務を行ってもらった。	2	3	2	2	2	今後も引き続き、公共施設管理公社と連携し、事業を行う。	2	生涯学習課	

施策③ 教職員・保育士等の男女平等意識の向上

No	事業
11	教職員や保育士等が固定的な性別役割分担意識に捉われず、男女平等の意識を持って子どもたちを指導できるよう、研修の充実を図ります。 ◆校内推進体制確立のための校長会での意識づけ ◆乳幼児人権教育研究会による研修の実施

【今年度の事業の実施度】
1.男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4.実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
(1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】				事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持	4.進まなかった				
全小中学校において、主に職員会議等の中で、男女平等教育についての研修(校外での研修の伝達、資料の周知を含む)を行った。	1	3	3	1	1	各校で行っている研修の内容を把握し、指導・助言していく。	2	教育委員会指導室	
乳幼児人権教育研究会による研修を年間4回実施 ・保育園の防災の取り組みについて・・・永田ひさ子氏・左官智子氏 ・虐待の現状と園の役割・・・河野朗久氏 ・支援や配慮が必要な子どもに係る保幼小連携について・・・糸魚川直祐氏 ・気になる子どもの理解と支援・・・小田浩伸氏	1	3	2	1	1	各研修で人権の視点をしっかりともち取り組んだ。	2	こども未来室	

No	事業
12	<p>小中学校に男女平等教育・人権教育担当者を置き、男女平等の視点に立った実践事例研修や男女平等教育の研修を推進します。</p> <p>◆各校に男女平等教育の担当教員の配置</p> <p>◆男女平等教育実践事例や指導事例集(府)を活用した校内研修</p>

【今年度の事業の実施度】
 1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
 2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
 3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
 4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
 1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
 (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
 (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
 (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1. 進んだ 2. やや進んだ 3. 現状維持 4. 進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
			(1)	(2)	(3)			
各校で、人権教育担当教員とは別に男女平等教育の担当教員(1名以上)を置くように指示した。	1	3	1	1	1	今後も男女平等教育の担当者を置くよう指示する。	2	教育委員会指導室
男女平等教育実践事例(本市)や指導事例集(大阪府)を活用した校内研修(実践の紹介や指導内容の工夫や改善等について)の推進を指示した。	1	3	3	1	1	今後も研修を行うよう指示していく。	2	教育委員会指導室

No	事業
13	<p>セクシュアル・ハラスメント、性犯罪に関する研修並びに今日的な課題に対して研修を実施します。</p> <p>◆各校の管理職・担当職員へのセクシュアル・ハラスメント防止や今日的課題に関する研修の実施</p>

【今年度の事業の実施度】
 1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
 2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
 3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
 4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
 1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
 (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
 (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
 (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1. 進んだ 2. やや進んだ 3. 現状維持 4. 進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
			(1)	(2)	(3)			
<p>管理職及び担当教員を対象として、市教委が主催のセクシュアル・ハラスメント防止研修を実施した。その後、各学校の校内研修の中で、研修資料をもとに管理職及び担当教員から伝達研修を行った。</p> <p>SSWを講師とした研修や警察と連携した連絡会を実施している。</p> <p>今年度の研修対象者は、67人で、59人が出席し、出席率は88%だった。</p>	1	3	1	1	1	<p>教職員の人事異動があり、これらの研修については継続して実施する。</p> <p>今後の改善点は、教職員数の多い学校については、管理職及び担当教員以外にも研修に参加していただくよう研修対象教職員を広げる。</p>	2	教育委員会指導室

施策④ 家庭での男女平等・男女共同参画の推進

No	事業
14	固定的な性別役割分担意識に捉われない家庭運営や子育てができるよう、保護者を対象に、男女平等や男女共同参画について学べる家庭教育に関する学習機会を提供します。 ◆モデル校(園)の実践報告会の実施 ◆保護者に対し、保育所・幼稚園における男女平等・男女共同参画推進のための保育の取組について積極的に情報提供を実施 ◆男女共同参画社会づくり講座の実施

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持				
各校でのPTAの中に、人権啓発委員会等を組織し、男女平等や男女共同参画を含めた人権学習(男女が互いを尊重することの大切さ等)に取組み、家庭・地域社会との連携のもとに人権意識の高揚に努めるよう指示した。	1	3	3	2	2	男女平等教育について授業参観で取り組み、懇談会でもテーマとして取り上げた学校があった。PTA活動における男女共同参画の視点について、もっと踏み込んで指示する。	3	教育委員会指導室
・保育参観、半日保育参加等をととして、園内の環境を見てもらい、日頃から男女平等、男女共同参画の視点で取り組んでいる保育知ってもらう。 ・運動会、発表会、園だより、クラスだよりを通して取り組みを伝えることができた。	2	3	1	1	1	行事等機会ある毎に伝えた。	2	こども未来室
子育て応援講座 ①タイトル:「パパとデコろう! 簡単ふんわりパパオムライス」 開催日: 10/22(土)午前・午後の2回実施 参加人数: 午前12組、午後7組 合計19組(35人)/24組定員 ②子どもサイエンスキャンパス タイトル:「パパと実験やってみよう! 「虹の万華鏡」光のスペクトルの美しさを楽しもう」 開催日: 10/2(日) 参加人数: 6組(15人)/15組定員	1	1	1	1	1	親子で参加できるよう、土日に実施。今後においても父親が参加しやすいよう配慮に努め、取り組んでいく。	2	人権・男女参画室

No	事業
15	家庭教育における悩み・問題について、男女平等・男女共同参画の視点を持ちつつ、解決に導く「教育相談」を充実します。 ◆スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持				
家庭教育での悩み・問題についての相談に応じ、スクールカウンセラーやS SWの活用、こども未来室や子ども家庭センターと連携して必要な支援を行った。スクールカウンセラーは、14小学校に配置し、中学校は全10校に配置している。小学校での相談件数は、1,314件、相談人数2,343人。中学校での相談人数は2,795人である。スクールソーシャルワーカーは、3名で、要請のあった件について、相談に応じ、支援を行った。	1	2	2	1	1	教育相談の充実さらに、市内小学校配置校を増やしていく。	1	教育委員会指導室

施策の方向(2)地域における男女平等学習の推進

施策⑤ 多様な選択を可能にする学習機会の提供

No	事業
16	地域において男女平等・男女共同参画の考え方が定着するように、研修会、学習会等を企画・実施します。 ◆男女共同参画社会づくり講座の実施 ◆校区別人権研修会 ◆市民カレッジ(指定管理者が実施) ◆成人教室(琴、茶道、華道) ◆青少年男女共同参画事業 ◆出前講座

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】				成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
		1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持	4. 進まなかった			
<p>(1) 男女共同参画社会づくりアドバイザー養成講座 例年実施しており、男女共同参画社会づくりのために、自分を磨き輝きたい人が色々な人生との出会いを求めて、自ら学び、考え、行動する実践的な内容で実施。28年度は下記の内容で実施した。(定員30人・申込人数19人・修了者数7人)(延べ参加人数325人)</p> <p>①9/8男女共同参画ってなあに? ②9/15コミュニケーション～聴き合う力は学びあう力～ ③9/29ワーク・ライフ・バランス～子育て・働き方・お金のこと～ ④10/6習慣とときたりについて～自分らしく生きるために～ ⑤10/13新しい自分発見♪新しい輪を広げよう!①/法律の中の女性～法制度の男女差～ ⑥10/20メディア・リテラシー～メディアとの付き合い方～ ⑦10/27災害に備えて～知って安心～/救命講習会(救命入門コース)～AEDを使ってみよう～ ⑧11/10仕事と介護の両立のために/続けられる健康体操 ⑨11/17新しい自分発見!新しい輪を広げよう②/修了式及び交流会 ※9回連続の講座数を午前・午後で数えるため18講座となる ※修了証を取得するには、15講座以上の出席が必要</p> <p>(2) 男女共同参画社会づくりアドバイザー養成講座(上級) 企画力を高めてスキルアップ!～ホワイトボード・ミーティングを活用～(全4回) 1/26、2/9、2/16、2/23 延べ参加人数:124人/30人定員×4回</p>	1	3	1	1	1	今年度は、定員30人で申込が19人だった。今後においては、更に多くの市民に参加してもらえるよう、日程や企画の見直しをし、男女平等・男女共同参画の考え方が更に定着するよう努める。	2	人権・男女参画室
<p>校区研修では女性問題に関するテーマはなかったが、「いのち愛人権市民の集い」において子育てに悩みながらも第一線で活躍している講師を招き、講演会を行った。</p> <p>日時 平成28年12月10日(土)午後1:30～3時 場所 人権文化センター1階大集会室 テーマ:「人生はいちばんじゃなくてもいい」 参加者:121人/200人定員</p>	2	2	3	1	1	引き続き事業の周知を図り、参加者増に努める。	2	人権・男女参画室
<p>平成28年度からいずみ市民大学を開学し、まちづくり学部と教養学部を併設した。(まちづくり学部52人、教養学部603人)まちづくり学部には52人の申し込みがあった。教養学部は前期6講座、後期6講座の計12講座を開催し、自然や文化、自然科学など専門的な分野を楽しく、わかりやすく学び、自らの知識を広げる講座を展開した。また、公開講座には藻谷浩介氏を招へいし、参加人数267人の参加があった。</p>	2	3	2	2	2	平成28年度からは、いずみ市民大学としてリニューアル。市長を学長とした大学に再編し、市や市の所管する施設が行う講座等とも連携し事業を進める。	2	生涯学習課
<p>成人教室(琴)(茶道)(華道)を開講。市民の生涯学習の推進に努めた。</p> <p>琴 : 女性12人 茶道 : 女性20人 男性1人 華道 : 女性22人</p>	2	3	2	2	2	今後も引き続き、事業を行う。	2	生涯学習課
<p>楽しく手軽にでき、性別に関わりなく自身の個性と能力が発揮できるスポーツ(ニュースポーツ)として昨年度から試みた「ピロポロ(室内ホッケー)」を今年度も取り入れました。平成28年度は、ピロポロ(室内ホッケー)あそび2回、キンボールあそび2回実施し、目標(定員)96人に対し84人(男54人・女30人)の参加がありました。</p>	2	2	1	1	1	性別・学年の枠を超えて共に競技し、男女共同意識の育成へ繋げました。今後も、子ども達が参加する中で、楽しみながら自然と男女共同参画の意識が育まれる取り組みを目指します。	2	青少年センター

<p>年輪大学の2コマを自治基本条例啓発の出前講座として実施した。 1回目:平成28年5月11日 2回目:平成28年5月18日 計61名(1回 定員40名) 市内の2小学校に出向き、自治基本条例の啓発のため出前講座として紙芝居を実施した。 1回目:和気小学校 平成28年9月7日 参加者数3クラス 118人 2回目:鶴山台南小学校 平成29年2月16日 参加者数2クラス 44人</p>	2	3	3	2	2	<p>公民協働に向けた情勢づくりに寄与した一方、自治基本条例啓発を主な目的として実施している。対象として男女を問わず自由参加としており、男女共同参画に配慮している。</p>	2	公民協働推進室
--	---	---	---	---	---	--	---	---------

No	事業
17	<p>地域において男女平等・男女共同参画の考え方が定着するように、研修会、学習会等を企画・実施します。 ◆広報いずみやホームページ等での周知の充実 ◆シティプラザ通信の発行、モアいずみ通信、広報いずみやHPでの周知の充実 ◆市政情報発信事業</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
<p>親学習講座など、男女関わらず参加してほしいイベントのチラシを各種掲示板やチラシBOXに配置した。</p>	2	3	2	2	2	<p>今後も引き続き、事業を行う。</p>	2	生涯学習課
<p>・モアいずみ通信、広報いずみ、和泉シティプラザ通信、HP、いずみメールでイベントや講座の情報を提供を行った。 ・女と男のフォーラムや男女共同参画週間事業については、コミュニティ誌にも掲載を依頼し、「女と男のフォーラム」は、町会連合会にご協力いただき、町会の掲示板に掲示した。 ・講座のチラシ・ポスターを関係施設に配架した。</p>	1	3	1	1	1	<p>今後も引き続き、広く市民に情報提供を行う。より多くに市民が参加できるよう、情報提供の手法について今後も考えていく。</p>	2	人権・男女参画室
<p>市の施策やイベント・講座などの情報を広報いずみを通じて全戸配布するとともに、ホームページやTwitter・Facebook・いずみメールでも情報配信を行った。</p>	2	2	1	1	1		2	いずみアピール課

No	事業
18	<p>生涯を通じた経済的自立の観点からの消費者行政を充実します。 ◆消費者生活啓発出前講座 ◆消費者月間事業</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
<p>複雑多様化している消費者問題に対応し、消費者被害の未然防止と自立した消費者の育成を図るため、高齢者向け(6回)、地域向け(3回)、児童・生徒・教員向け(5回)、大学生向け(3回)など出前講座を19回(1,965人)実施した。</p>	2	3	3	1	1	<p>今年度も継続して、啓発の充実を図る。消費のサポート登録者の方と、消費者問題に対応し啓発出前講座を実施する。</p>	2	福祉総務課

地域から消費者被害をなくすために見守りパンフレット「気づいてつなぐ」を配布(約3,000部) 市内主要駅(2駅)で消費のサポーターの協力のもとに消費者月間統一テーマ「みんなの強みを活かさせ～安全、安心な社会に～億総活躍」のチラシ配布)及び消費生活センター案内のティッシュを配布(2,000部)した。	2	3	3	1	1	今後も継続して支援の充実を図る。平成29年度からは、消費のサポーターとの活動を増やし、消費者被害の事案については、相談窓口の案内及び所管庁への連絡等、連携して対応していく。	2	福祉総務課
--	---	---	---	---	---	--	---	-------

施策⑥ 女性の意思決定の場への参画に向けての人材育成の充実

No	事業
19	女性のチャレンジを支援するための情報提供や各種講座を実施します。 ◆和泉市男女共同参画センターの図書コーナーの充実

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】				事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持	4. 進まなかった				
図書 「これから始める仕事と介護の両立支援」、 「多縁社会 自分で選んだ縁でいきていく」、その他11冊 DVD ・「大統領の料理人」、「黄金のアデーレ」を平成28年度で購入し、図書コーナーの充実に努めた。	1	3	1	1	1	図書コーナーの広報に努めるとともに、図書・DVDの充実を図る。	2	人権・男女参画室	

No	事業
20	「女と男のフォーラム」の企画・運営等を通して女性のエンパワメントを支援します。 ◆「女と男のフォーラム」の開催

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】				事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持	4. 進まなかった				
企画・運営を協働でおこなう市民実行委員会を立ち上げ、「女と男のフォーラム」を開催した。 テーマ: 自分らしく輝く～「電波少年」のケイコ先生から浪曲師に～ 講師: 春野 恵子さん 開催日: 平成29年2月4日(土) 参加人数: 248人(女性180人 男性68人)/200人定員	1	2	1	1	1	引き続き、女性のエンパワメントにつなげるよう取り組む。	2	人権・男女参画室	

No	事業
21	モアイずみ通信やホームページ、さらには「いきいきライフ講座」等を通じて、様々な分野で活躍する女性をロールモデルとして紹介します。 ◆いきいきライフ講座、いずみワクワク講座の開催

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
キラッと輝いて活躍している方の生き方を学び、自分らしく生きることの素晴らしさに気づき、自分の生き方を深めることを目的とし、いきいきライフ講座を2回実施した。 【いきいきライフ講座】 ①貧困から立ちあがって～人との出会い、起業・・・そして世界に輝くまで～ 平成28年7月4日(月) 参加人数: 31人/30人定員 ②世界の女の子の今“女の子だから”うける苦難と新たな未来 平成29年2月3日(金) 参加人数: 26人/30人定員	1	1	1	1	1	引き続き、講師をロールモデルとした講座を実施し、受講者の気づきにつなげる。	2	人権・男女参画室

施策の方向(3)男性にとっての男女共同参画の推進

施策⑦ 家庭・地域への男性の参加・参画の推進

No	事業
22	男性が仕事中心の生き方を振り返り、家庭や地域に参画するきっかけづくりとして、学習や交流機会の充実を図ります。 ◆親学習講座 ◆エンゼルハウス運営事業 ◆行事や半日保育参加への呼びかけ ◆「子育て応援講座」「男性学講座」の開催

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
親学習講座など、男女関わらず参加してほしいイベントのチラシを各種掲示板やチラシBOXに配置した。 親学習第1回(6人) 第2回(4人) 第3回(18人) 第4回(7人) 第5回(5人) 第6回(33人) 第7回(8人) 第8回(6人) 第9回(22人) 第10回(10人) 第11回(51人) 第12回(21人) 第13回(15人) 第14回(10人) 第15回(10人)	2	3	2	2	2	中学生や小学生に向けての親学習を行っている。	2	生涯学習課
エンゼルハウスでの親学習を通じて、父親の子育て参加を促し、家族で参加する「Familliday」及び「お父さんデー」毎月1回実施。 市内にエンゼルハウス5ヶ所を設置し、運営。 【年間エンゼルハウス参加人数】 ・鶴山台: 12,237名 ・府中: 11,008名 ・北松尾: 11,447名 ・和泉中央: 11,691名 ・青葉台: 11,215名	2	3	2	2	2	引き続き、子育て支援の充実等を図る。	3	こども未来室
父母にかかわらず、半日保育への呼びかけをした。 運動会、発表会では、男性の参加は女性同様に多かった。 発表会においては園児数の多い園では、平日と土曜日の2回おこない、父親等の男性が参加しやすくなるようにした。	1	3	1	1	1	母親の参加が多いが、1クラスに2～3組の父親の参加がある。	2	こども未来室

<p>【子育て応援講座】</p> <p>①「パパと実験やってみよう！」 「虹の万華鏡」光のスペクトルの美しさを楽しもう 平成28年10月2日(日) 参加:6組/15組定員</p> <p>②「パパとデコろう！簡単ふんわりパパオムライス」 平成28年10月22日(土)午前と午後の2回実施 参加:午前12組、午後7組 参加:19組/24組各定員</p> <p>【男性学講座「男性のためのライフアップセミナー」】</p> <p>①男性が介護するということ～「ケアメン」を生きる～ 平成29年2月15日(水) 参加人数:26人/定員20人</p> <p>②簡単な運動で、健康長寿～心も体もリフレッシュ～ 平成29年2月22日(水) 参加人数:15人/定員20人</p>	1	1	1	1	1	<p>仕事を持つ男性にも参加してもらえよう、土日に実施したが、目標値を達成できなかった。今後においても配慮に努め、取り組んでいく。</p>	2	人権・男女参画室
--	---	---	---	---	---	---	---	----------

No	事業
23	<p>男性の意識改革や生活自立のための実践的な家事講座等を実施します。</p> <p>◆男性学講座</p>

【今年度の事業の実施度】
1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。(2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
(1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
<p>介護が必要な状況になったとき、ひとりで抱え込み、孤立しないためにも、男性が介護することを学ぶ講座を開催した。介護がテーマだったため、女性の参加も受け入れた。</p> <p>男性学講座「男性のためのライフアップセミナー」</p> <p>①男性が介護するということ～「ケアメン」を生きる～ 平成29年2月15日(水) 参加人数:26人/定員20人</p> <p>②簡単な運動で、健康長寿～心も体もリフレッシュ～ 平成29年2月22日(水) 参加人数:15人/定員20人</p>	1	1	1 1 1	<p>今後も、男性の地域や家庭への参加の推進に努める。</p>	2	人権・男女参画室

施策の方向(4) 男女平等意識の浸透

施策⑨ 固定的な性別役割分担意識を解消するための市民への働きかけ

No	事業
24	<p>「何について(男女平等に関する課題)」「誰に向かって(例えば「男性に」等、対象者を絞り込む)」「どんな方法で(広報紙、ホームページ、講演会、「男女共同参画週間」「人権週間」の時に、等)」を的確に判断し、体系的、段階的に市民への啓発活動を進めます。</p> <p>◆市政情報発信事業 ◆「男女共同参画週間事業(ミニフォーラム)」「女と男のフォーラム」</p> <p>◆男女共同参画週間等に合わせた資料展示</p> <p>◆市子ども会育成連絡協議会や青少年問題協議会への啓発紙の配布</p> <p>◆男女共同参画等に関する資料展示 ◆男女平等の意識を育む</p> <p>◆中学校区における人権研修会や講演会等の地域への啓発活動の実施</p> <p>◆広報・ホームページ</p>

【今年度の事業の実施度】
1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。(2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
(1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
<p>市の施策やイベント・講座などの情報を広報いずみを通じて全戸配布するとともに、ホームページやTwitter・Facebook・いずみメールでも情報配信を行った。</p>	2	2	1 1 1		2	いずみアピール課

<p>①男女共同参画週間事業(ミニフォーラム) 開催日:平成28年6月11日(土) 内容:映画「ほくたちの家族」上映 参加人数:508人/650人定員</p> <p>②女と男のフォーラム 開催日:平成29年2月4日(土) 内容:自分らしく輝く～「電波少年」のケイコ先生から浪曲師に～ 参加人数:248人(女性180人 男性68人) /200人定員</p>	1	2	1	1	1	より多くの市民を対象とした事業を実施し、固定的な性別役割分担意識を解消するため、啓発活動を行う。	2	人権・男女参画室
男女共同参画週間事業(ミニフォーラム)や女と男のフォーラムで、モアいずみ(和泉市男女共同参画センター)及びモアいずみ登録団体の活動内容を各団体一言メッセージを添えてパワーポイントを上映した。また、モアいずみ(和泉市男女共同参画センター)及びモアいずみ登録団体のポスター及び作成品等を展示した。	1	3	1	1	1	今後も男女共同参画に関する資料展示を行い、啓発活動に取り組む。	2	人権・男女参画室
女と男のフォーラム等、イベント情報を積極的に情報提供した。	2	3	2	2	2	今後も引き続き、情報提供を行う。	2	生涯学習課
シティプラザ図書館において、男女共同参画コーナーを設け、通年で資料の表紙を見せながら展示するなど、手に取りやすい工夫を行った。また、28年度から新たに北部リージョンセンター図書室で男女共同参画週間に合わせて資料展示を行うことができた。資料展示実施回数 計2回	2	2	2	1	1	これまではシティプラザ図書館のみでしか実施できていなかったが、今年度は新たに北部リージョンセンター図書室でも資料展示を実施することができた。引き続き、他の図書館でも実施できるように要請していきたい。	2	読書振興課
男性保育士が日々の保育をしたり育児を担当することや、父親の育児参加を呼びかけることで市民に対する性別役割分担意識を解消するための働きかけを行った。	2	3	2	2	2	送迎時等、日々声をかけている。	2	こども未来室
地域において男女平等・男女共同参画の考え方が定着するよう、中学校区単位の地域教育協議会での講演会、各校PTAの人権啓発活動(性教育について等)を実施するよう指示した。	1	3	3	2	2	PTAで研修会を開いたり、男女平等教育について授業参観で取り組み、懇談会でもテーマとして取り上げた学校があった。PTA活動における男女共同参画の視点について、もっと踏み込んで指示する。	3	教育委員会指導室
高齢介護室のイベント・講座・高齢者福祉サービスなどの情報を広報いずみやホームページ・いずみメールで情報を発信する。男女共同参画を視野に入れ、文言に注意して作成する。	2	3	2	2	2	利用できる福祉サービスや地域の社会資源のネットワークを市民が活用できるよう、市のホームページや広報に掲載するほか、パンフレットを作成し情報提供する。	2	高齢介護室

No	事業
25	地域活動において、男女共同参画社会の理解を深めるための出前講座等の内容の充実と広報の強化を図ります。 ◆出前講座での広報の工夫 ◆男女共同参画推進事業(オアシス)助成金事業の実施

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持				
窓口やホームページ等において、出前講座の募集を行った。	2	3	2	2	2	今後も引き続き、事業を行う。	2	生涯学習課
平成28年度男女共同参画推進事業(オアシス)助成金交付団体 ①和泉国際交流会ICIX「いのちの詩～子どもの心はダイヤモンド～」 ②いずみヒューマンネット「土鍋とフライパンでつくる男性のための簡単自己完結型料理」 ③モア21「お父さんと楽しむ、わくわく科学実験！ようこそ煮干しの解剖教室へ♪」 ④パソコンサークル“click”「自分らしさ満載！オリジナル年賀状講座」 ⑤ローズウッド「パパママ、家庭でできるフランスのお菓子に初挑戦！」 ⑥NPO法人和泉100人委員会「ちゃんと学ぼう♪自分のための「性」講座(中学生)」「ちゃんと学ぼう♪わたしと子どものための「性」講座(一般)～自分を大切に、相手のことも大切にするために～」	1	2	1	1	1	目標値を達成することができなかったが、各団体は、男女共同参画の視点をしっかりと持ち実施することができた。助成金制度については、引き続き積極的に周知、目標達成に努める。	2	人権・男女参画室

No	事業
26	男女共同参画社会づくりのために啓発冊子を定期的に発行します。 ◆啓発冊子作成業務

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持				
平成27年度に啓発冊子「CHANGE」を作成し、平成28年4月号広報いずみにて全戸配布を行い啓発を行った。(全戸配布部数) 73,000部 また、男女共同参画社会に向けての関心や理解を図る内容・イラストのものです、固定的な性別役割にとらわれないメッセージを込めた「男女共同参画啓発カレンダー(2017年版)」を作成し、平成29年1月号広報いずみにて全戸配布を行い啓発を行った。(全戸配布部数) 73,000部	1	1	2	1	1	男女共同参画の基本的な認識と理解を深めるために必要な啓発内容を精査し、啓発冊子を作成することができた。全戸配布することにより、効率よく啓発することができた。29年度の啓発冊子作成についても、啓発内容を現在のニーズをふまえて作成する。	2	人権・男女参画室

No	事業
27	市民との協働のもと、男女共同参画社会づくりの認識と理解を深めるための啓発イベントを定期的で開催します。 ◆「女と男のフォーラム」「男女共同参画週間事業ミニフォーラム」の開催

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない 評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持				
<p>・女と男のフォーラム 開催日：平成29年2月4日(土) 内容：自分らしく輝く～「電波少年」のケイコ先生から浪曲師に～ 参加人数：248人(女性180人 男性68人)/定員200人</p> <p>・男女共同参画週間事業(ミニフォーラム) 開催日：平成28年6月11日(土) 内容：映画「ぼくたちの家族」上映 参加人数：508人/650人定員</p>	1	3	1	1	1	引き続き、市民と協働のもと、啓発活動に取り組む。	2	人権・男女参画室

施策⑨ 市職員の男女平等・男女共同参画意識の向上

No	事業
28	市職員や連携機関の職員等に対して男女共同参画に関する研修等を充実します。 ◆男女共同参画研修 ◆男女共同参画施策推進員の研修の実施 ◆留守家庭児童会指導員研修の実施

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない 評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持				
<p>新規採用職員に対して、男女共同参画についての研修を実施した。受講者がそれぞれの職務との関連性を考え、認識がより深まるよう、仕事に慣れた頃に研修時期を設定するよう改善した。</p> <p>実施日：平成28年9月8日 研修内容：男女共同参画社会について 新規採用職員11人中 9人参加</p>	2	2	1	1	1	仕事に慣れた9月に開催することで、職務との関連性を意識し、研修効果がより高まったと考える。	2	人事課
<p>平成28年度男女共同参画推進員研修会 ①テーマ：「職場におけるハラスメント」平成28年8月25日開催 参加人数：43人/52人 ②テーマ：LGBT研修「出会いは世界を広げていく」平成28年12月22日開催 参加人数：38人/52人</p>	1	1	1	1	1	全員が受講できるよう、研修時期等に配慮を行ったが、当日急務等で参加率72%となった。引き続き研修時期の配慮を行う。 ②平成28年12月22日開催の研修会については、男女共同参画施策推進員のほか、人権職場推進員や、保育園職員も参加。(当日参加人数合計 50人)	2	人権・男女参画室
<p>「和泉市留守家庭児童会条例」の設置の主旨に基づき、児童の適切な遊び場及び生活の場を提供するため、年間10回の支援員研修会を実施している。</p>	2	3	3	1	1	今後も引き続き、研修を行う。	2	生涯学習課

No	事業
29	和泉市男女共同参画施策推進本部・幹事会の取組を強化します。 ◆和泉市男女共同参画施策推進本部・幹事会の開催

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
オアシスプラン及びDV防止基本計画に係る平成27年度推進状況報告及び平成28年度事業について、平成28年度和泉市男女共同参画施策推進本部会議を開催し、各課の取り組み内容等の報告を行った。(平成28年11月25日開催)	1	1	1	1	1	第3期オアシスプランの今後の進行管理等について、意思統一を図ることができた。また、報告書については、広く市民に周知することを目的に、ホームページに掲載を行った。	2	人権・男女参画室

施策⑩ 性に捉われない人権の尊重

No	事業
30	男女の性差についての正しい知識の周知を図るとともに、性的マイノリティへの理解を深めるための啓発を推進します。 ◆モアいずみ通信の発行・図書コーナー等で人権啓発ビデオの貸し出し。 ◆性的マイノリティへの理解を深めるための取組みを推進

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
・マイノリティについてのDVDを購入「リリーのすべて」 ・マイノリティに関する相談窓口(大阪府人権相談・よりそいホットライン等)を掲載したチラシを関係機関や教育委員会に配架、及び市ホームページにも掲載し、周知に努めた。 ・人権職場推進員及び男女共同参画施策推進員を対象に職員研修を実施。開催日:12月22日 テーマ:「出会いが世界を広げていく」参加人数:50人 ・職員への情報誌「オアシスIZUMI」で、性的マイノリティをとりあげ、正しい理解を深めるための啓発を行った。	1	3	1	1	1	性的マイノリティへの理解を深めるための情報を収集し、今後も引き続き、啓発に取り組む。	1	人権・男女参画室
性的マイノリティについて、管理職及び担当者を対象とした研修(3月7日)を行った。 テーマ:「性的マイノリティの生徒に対する取組みについて」 参加人数:59人	1	1	1	1	1	管理職や担当者への入れ替わりもあり、継続して啓発する。研修内容について、各学校の教職員へ確実に伝達するように指示する。	2	教育委員会指導室

施策⑩ 男女共同参画にかかると資料等の充実と積極的提供

No	事業
31	男女平等・男女共同参画施策の進捗状況を知り、施策の見直しをするための男女共同参画に関する調査を継続的に実施します。 ◆男女共同参画に関する市民意識調査(10年に1回)

【今年度の事業の実施度】
 1.男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
 3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。(2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
 4.実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
 1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
 (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
 (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
 (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
男女平等・男女共同参画施策の進捗状況を知り、施策の見直しをするための男女共同参画に関する調査を実施(10年に1回)し、次期行動計画策定の基礎資料とする。 ※次期は、平成35年度に実施予定のため、平成28年度は実施していない。	4	4	3	3	3		2	人権・男女参画室

No	事業
32	男女別統計の必要性の啓発を進め、様々な男女別統計を作成します。 ◆統計いずみにおける男女別データの公表 ◆いずみデータブックの作成

【今年度の事業の実施度】
 1.男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
 3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。(2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
 4.実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
 1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
 (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
 (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
 (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
統計いずみ等を通じ、女性の現状を表す資料として、統計調査の男女別集計結果を公表した。 7件(人口、国勢調査、経済センサス、農林業、工業、教育、行財政)	2	3	1	2	1	継続して実施していく。	2	総務管財室
結婚と出生(出生数推移等)、政策・方針決定(審議会等の女性委員割合推移等)、教育(男女別学校種類別進学率の推移等)、労働(男女の賃金格差推移等)、女性に対する暴力(配偶者間における犯罪件数等)、国際比較(GII(ジェンダー不平等指数等)を集約した「いずみデータブック2017版」を作成した。	1	3	2	1	1	男女共同参画にかかるとデータを収集し、本市における施策の進行管理に活かす。	2	人権・男女参画室

No	事業
33	男女共同参画に関する図書や資料の収集と提供を充実します。 ◆男女共同参画に関する資料収集 ◆男女共同参画に関する資料提供 ◆図書館における男女共同参画に関する資料の収集

【今年度の事業の実施度】
1.男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。(2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
4.実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
(1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
			(1)	(2)	(3)			
シティプラザ図書館の男女共同参画コーナーを充実させるため、男女共同参画に関する資料を購入した。 「女たちの情熱政治」他、計29点	2	3	1	1	1	今年度は目標値を上回る点数の資料を購入することができた。積極的に購入はしているものの、利用が減ってきているため、まず目に留まり、興味を持って手に取ってもらいやすい工夫を検討する必要がある。	2	読書振興課
シティプラザ図書館の男女共同参画コーナーの棚に本の表紙を見せて展示するなど、手にとってもらいやすいように工夫した。	2	3	2	1	1	手にとってもらいやすいように工夫したが、目標値には達しなかった。また、前年度より貸出点数が減少しているため、魅力ある新たな資料の購入と合わせて興味を持ってもらえる展示の仕方を検討していく必要がある。	3	読書振興課
モアいずみ(男女共同参画センター)の図書コーナーにおける図書や資料の収集と提供を行った。	1	3	1	1	1	今後も引き続き、収集と提供に取り組む。	2	人権・男女参画室

施策の方向(5)人権尊重、男女平等に立ったメディアの確立

施策⑯ 市の刊行物等の表現の配慮

No	事業
34	市が作成する広報紙、刊行物、ポスター、チラシ等は、内閣府男女共同参画局発行の「男女共同参画の視点からの公的広報の手引」に基づいて、男女共同参画の視点を入れ、制作します。 ◆市政情報発信事業 ◆掲示適正な表現であるかの確認 ◆庁内の掲示ポスター、広報紙、ホームページ等を男女共同参画の視点で点検 ◆広報紙、刊行物、ポスター、チラシ等の作成 ◆発信する刊行物等を男女共同参画の視点で製作・点検 ◆広報・ホームページ

【今年度の事業の実施度】
1.男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。(2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
4.実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
(1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
			(1)	(2)	(3)			
男女共同参画を視野(デザイン色に関して、男の子は青、女の子は赤などと決め付けず、男女とも共有色である緑色や黄色などの配色に心がけやイラストを使う際、お母さんが赤ちゃんを抱っこしているのではなくお父さんが抱っこしているイラストなどを入れ、広報いずみやホームページ・Twitter・Facebook・いずみメールを制作した。	2	2	1	1	1		2	いずみアピール課

庁内において掲示依頼のあるポスター・チラシ等について、本施策の視点に立って適正な表現であるかを見極め、必要に応じて関係部局と協議を行った。	2	3	1	1	1	庁内において掲示依頼のあるポスター・チラシ等について、本施策の視点にたつて適正な表現であるかを見極めることができた。	2	総務管財室
市が作成する広報紙、刊行物、ポスター、チラシについて、男女共同参画の視点の欠けたものを発見した場合は、速やかに担当課と協議し、改善の要望を行った。	1	3	2	1	1	引き続き、市が作成する広報紙、刊行物、ポスター、チラシを随時点検する。	2	人権・男女参画室
広報紙、刊行物、ポスター、チラシ等を作成する場合には、「男女共同参画の視点からの公的広報の手引」を参考にし配慮した。	2	3	2	2	2	引き続き、発行物等を作成する場合、男女共同参画の視点に配慮しながら取り組んでいく。	2	こども未来室
指導室で作成する刊行物、冊子等の内容や表現について男女共同参画の視点で製作・点検した。	1	3	1	1	1	引き続き、男女共同参画の視点について配慮する。	2	教育委員会指導室
高齢介護室の多様な福祉サービスや教室、相談窓口を広報誌やホームページ等で周知する。	2	3	2	2	2	高齢者が生き生きと暮らせるように、地域の人たちとの交流の場や趣味、福祉サービスをわかりやすく、多くの方に情報提供を行っていく。	2	高齢介護室

施策⑬ メディア・リテラシーの向上

No	事業
35	<p>メディア・リテラシーの向上のための学習機会を提供します。</p> <p>◆学校における「情報モラル教育」の実施 ◆メディア・リテラシーに関する資料展示</p> <p>◆男女共同参画社会づくり講座の実施</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない ① 評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持も進まなかった				
ICTコンピュータネットワークの整備に伴い、インターネットのフィルタリングについての研修をはじめ、情報モラル教育について、資料や研修講師などの情報を各学校に提供し、各校での子ども対象の学習会を推進させた。	1	2	1	1	1	スマホやケータイの子どもたちへの普及が急速に進み、ネットトラブルについての学習をする機会を拡充したが、さらに進める。	1	教育委員会指導室
未実施(メディア・リテラシーに関する資料展示)	4	4	3	3	3	メディア・リテラシーに関する資料は所蔵が少ないので、今後は少しずつ資料点数を増やしていくことを検討する。それが難しい場合は、情報提供を積極的にするなど前向きに検討していきたい。	3	読書振興課
例年実施している「男女共同参画社会づくりアドバイザー養成講座」のなかで、メディア・リテラシーの講座を開催。 タイトル:メディア・リテラシー～メディアとの付き合い方～ 開催日:10月20日(木) 受講生:18人/30人定員	1	3	1	1	1	今後も引き続き、講座を実施し、メディア・リテラシーの向上を図る。	2	人権・男女参画室

No	事業
36	性的感情、暴力性を助長するような有害図書・ビデオ及び喫煙・飲酒・薬物乱用等悪影響を及ぼすことについて大阪府と連携し、環境の改善を図ります。 ◆全小学校区での定期的な巡回パトロールの実施 ◆「青少年の非行・被害防止に取り組む全国強化月間」の取組

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課	
		1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持				
青少年指導員協議会に対し、校区ごとに巡回パトロールの強化を依頼した。	2	3	2	2	2	今後も引き続き、事業を行う。	2	生涯学習課
毎年7月の青少年を非行から守る全国強化月間にあわせ、「青少年を非行から守る」市民大会を開催し、啓発に取り組んだ。(200人) 毎年6月に広報車で全校区を巡回し、青少年を非行から守る全国強化月間等について啓発を行った。	2	3	2	2	2	今後も引き続き、事業を行う。	2	生涯学習課

基本目標Ⅱ 男女平等の参加・参画で社会を活性化する 施策の方向 6 意思決定の場への女性の参画の推進

施策⑭ ポジティブ・アクション(積極的改善措置)の考え方

No	事業
37	市民・事業者・行政等のあらゆる分野にポジティブ・アクション(積極的改善措置)の考え方を導入し、男女共同参画を推進します。 ◆女性職員の職務内容の見直しと職域の拡大 ◆ポジティブ・アクション(積極的改善措置)の周知 ◆ポジティブ・アクション(積極的改善措置)の考え方についての啓発 ◆町会等への働きかけ ◆地域の各種団体の長等を選出する際において、女性役員の登用を積極的に行うよう啓発します。

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課	
		1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持				
研修、人事評価、上司によるOJT等を通じた女性職員の職域拡大に向けた育成を行うとともに、多様な職務経験を付与すべく、人事異動において勘案した。 管理的地位にある職員数 177名(うち女性31名)	1	2	1	1	1	研修、人事評価、上司によるOJT等を通じた女性職員の職域拡大に向けた育成を行い、多様な職務経験を付与すべく、人事異動において勘案することにより、前年度実績を上回る結果となった。	2	人事課
平成28年6月1日に和泉中央駅及び和泉府中駅にて、就職差別キャンペーンの一環として啓発物を配布し、女性を含む就職差別の撤廃啓発を実施するとともに、加入事業所に対し、各種啓発講座への参加を促した。	1	3	2	1	1	女性活躍推進法や男女雇用機会均等法等について、会員事業所を中心に和泉市内の事業所に周知する。	1	商工労働室

平成28年度は、モアいずみ通信(女性活躍推進法「見える化」サイト、大阪女性活躍推進月間)、広報いずみ(性別役割分担意識の払拭について)及び市ホームページにおいて、女性活躍推進法(女性活躍推進法「見える化」サイト、大阪女性活躍推進月間)に関連した啓発を行った。	1	2	1	1	1	男女共同参画施策推進員研修では、ハラスメント及びLGBTIについて研修を行ったため、ポジティブ・アクション(積極的改善措置)の考え方についての研修を実施できなかったが、審議会等における関係各課(室)との事前協議では、ポジティブ・アクション(積極的改善措置)の考え方についての働きかけを行うことができた。引き続き、あらゆる分野にポジティブ・アクション(積極的改善措置)の考え方を導入することの重要性について啓発していく。	2	人権・男女参画室
11月校区会長会議(平成29年2月4日開催)「男と女のフォーラム」チラシの掲示依頼 (平成28年度) 町会連合会に属する町会長 203人(うち女性 14人 男性189人)	2	2	2	2	2	男女共同参画室との連携に努めることができた。今後も、連携を密に事業を実施していく。	2	公民協働推進室
社会教育団体等、各種団体の選出にいたっては、オアシスプランの意図を説明し、積極的な登用に向けて説明を行った。 【役員人数】 和泉市PTA協議会(女性7人 男性18人)25人 和泉市青少年指導員協議会(女性1人 男性24人)25人 和泉市こども会育成連絡協議会(女性4人 男性7人)11人 和泉市文化協会(女性4人 男性5人)9人	2	3	2	2	2	今後も積極的な登用に向け、説明を行う。	2	生涯学習課

施策⑮ 審議会等への女性の参画の推進

No	事業
38	市の審議会等の附属機関や行政委員会等の女性委員の比率を、平成36(2024)年までのできるだけ早い時期に40%の達成をめざします。 ◆女性委員の参画率

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
			(1)	(2)	(3)			
年度当初において、女性委員の登用について事前協議の実施及び、40%の目標達成についての通知文を各課(室)の長あてに送付し、各課(室)職員に周知を図った。 また、女性人材リストの充実にも努めた。	1	4	1	1	1	引き続き、事前協議を実施し、委員選考時には、各種団体等に女性を選出してもらおう依頼する等々関係各課(室)へ働きかけを行い、目標を達成するよう協議強化に努める。	1	人権・男女参画室

No	事業
39	女性委員がいない審議会等に対しては、『0から1』への働きかけを行い、女性委員のいない審議会等の解消をめざします。 ◆事前協議の強化

【今年度の事業の実施度】
 1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
 2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
 3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
 4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
 1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
 (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
 (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
 (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】				事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持	4.進まなかった				
女性委員0人の審議会等は3件あった。引き続き、次期の委員改選時には、委員選定時の基準の見直し等改善を促し、女性委員0人の解消をめざす。	2	3	1	1	1	該当課について、引き続き、女性委員の登用についての必要性を認識してもらうよう努め、委員選定時の基準の見直し等改善を促しながら、目標達成をめざす。	2	人権・男女参画室	

No	事業
40	意思決定過程への女性の参画を推進するため、審議会等における委員の選出方法の見直しを進めます。 ◆先行市の取組研究

【今年度の事業の実施度】
 1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
 2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
 3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
 4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
 1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
 (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
 (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
 (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】				事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持	4.進まなかった				
オアシスプランにおける女性委員の登用の目標値について、関係各課(室)については、本市方針を十分認識していただくとともに、委員選考時には、各種団体等に対し、本市方針を含めた推薦依頼を行い、又は市の職員を選定する際の基準についての見直し等を行う等の働きかけを行い、目標に向けて事前協議を行った。	1	3	1	1	1	引き続き、先行市の取組等の情報収集を行い、目標値の達成に努める。	2	人権・男女参画室	

No	事業
41	審議会委員等の委員の改選時は、男女共同参画所管部長との事前協議を行います。 ◆事前協議

【今年度の事業の実施度】
 1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
 2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
 3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
 4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
 1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
 (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
 (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
 (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】				事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持	4.進まなかった				
審議会等の委員改選時には、事前協議にて女性委員の参画率40%をめざし協議を行った。 委員選出依頼文に、女性委員登用の主旨の記載をするよう依頼、また、充て職等委員構成の見直し依頼などを行った。 平成28年4月1日現在 登用率32.1%	2	4	2	1	1	引き続き、事前協議を実施し、目標を達成するよう関係各課との協議強化に努める。	2	人権・男女参画室	

No	事業									
42	女性が政治や政策・方針決定の場への参加・参画することの重要性について、市民に啓発します。 ◆市民啓発									
		【今年度の事業の実施度】 1.男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。 3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。 4.実施していない。			【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】 1.している 2.部分的にしている 3.していない 評価 (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。 (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。 (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。					
実施状況(事業報告)		今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった			事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)		成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
「いずみデータブック2016(男女をとりまく状況)」を作成し、市民へ情報提供を行った。		3	3	1	1	3	男女共同参画推進市民実行委員会を平成29年度に設立し、この課題についても取り上げていきたい。	1	人権・男女参画室	

施策⑯ 女性職員・女性教員の管理職への登用

No	事業									
43	女性職員・教員の職務内容の見直しと職域の拡大を図ります。 ◆女性職員の職務内容の見直しと職域の拡大 ◆残業の見直し、サポート体制の整備 ◆人材育成、管理職候補者の育成についてヒアリングを行う。									
		【今年度の事業の実施度】 1.男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。 3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。 4.実施していない。			【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】 1.している 2.部分的にしている 3.していない 評価 (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。 (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。 (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。					
実施状況(事業報告)		今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった			事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)		成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
研修、人事評価、上司によるOJT等を通じた女性職員の職域拡大に向けた育成を行うとともに、多様な職務経験を付与すべく、人事異動において勘案した。(再掲Ⅱ-6-14-37) 管理的地位にある職員数 177名(うち女性31名)		1	2	1	1	1	研修、人事評価、上司によるOJT等を通じた女性職員の職域拡大に向けた育成を行い、多様な職務経験を付与すべく、人事異動において勘案することにより、前年度実績を上回る結果となった。(再掲Ⅱ-6-14-37)	2	人事課	
長時間労働の是正など、仕事と家庭生活を両立しやすい職場づくりを進めるため、OJT研修やマニュアル作成研修等を活用して、職場における業務の効率化に対する意識の高揚を図った。 時間外勤務が多い部課の状況を定期的に確認し、削減に向けた働きかけを行った。 ・OJT研修(職階別研修) 対象 主任昇格対象者 参加人数 32人(男性15人 女性17人) ・マニュアル作成研修(マッセ) 対象 全職員 参加人数 3人(女性2人)		2	1	1	1	1	OJT研修やマニュアル作成研修等を活用して、職場における業務の効率化に対する意識の高揚を図ったほか、時間外勤務については昨年度に比べ大幅な削減に成功した。	2	人事課	
各校において、女性教職員が校務の中心となり、積極的に学校運営等に参画できる組織作りと人材育成について取組むよう校長会等で指示した。 また、ヒアリングを通して女性管理職候補者の掘り起こしと育成について状況を確認し、必要に応じて指導・助言を行った。		1	3	1	2	3	女性の管理職が増えるよう、キャリアモデルのイメージをつまさせる。 そのため女性の分掌長や教頭、校長のライフプランを発信していく。	2	教育委員会指導室	

No	事業
44	女性職員・教員及び管理職に対する研修(教育訓練)を充実します。 ◆女性リーダー養成のための研修 ◆係長級昇任試験の受験者数向上 ◆学校におけるミドルリーダー研修の実施

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】				事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 紹介 5. 廃止	担当課
		1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持	4. 進まなかった				
<p>女性職員にリーダーとしての力を身に付けてもらうべく、女性職員研修や階層別研修に参加を促し、女性職員の意識改革やリーダーを育てる力の向上を図った。</p> <p>①テーマ: 仕事の「質」と「効率」を高め、自分も周りも生かす仕事を実現するために必須の“仕事力”を身につける。 参加者: 女性5人</p> <p>②テーマ: 組織目標を達成するために、管理職員として、部下の仕事の管理や業務改善のポイントを学び、効果的なマネジメント手法を身につける。 対象: 課長補佐級(80人(男性59人・女性21人)) 参加人数: 60人(男性44人・女性16人)</p> <p>③テーマ: 仕事を効率的に行うために、上司や部下とのよりよい関係を構築し、組織におけるチーム力を向上させる。 対象: 新任係長級(31人(男性21人・女性10人)) 参加人数: 26人(男性18人・女性8人)</p> <p>④テーマ: 結果を出す組織を作るために、コミュニケーション力でリーダーシップを発揮し、また後輩育成に必要なOJT指導スキルを学ぶ。 対象: 主任昇格対象者(38人(男性16人・女性22人)) 参加人数: 32人(男性15人・女性17人)</p>	1	1	1	1	1	女性職員にリーダーとしての力を身に付けてもらうべく、職階別研修に積極的な参加を呼びかけたため、実績値が目標値を上回る結果となった。	2	人事課	
<p>係長級昇任後の職務にやりがいを持てるように説明会を開催するとともに、上限年齢制限を撤廃し受験対象者を拡大した。</p> <p>平成28年度対象者 171名 (うち女性職員 96名) 受験者 68名 (うち女性職員 17名) 受験率 39.8% (うち女性職員 17.7%)</p>	1	2	1	1	1	係長級昇任後の職務にやりがいを持てるように説明会を開催するとともに、上限年齢制限を撤廃し対象者の拡大を図った。	2	人事課	
<p>女性教員の管理職選考の受験者を増やすため、校長会や学校訪問時に呼びかけを行った。 ミドルリーダー育成のための研修会をもった。 H28年度 ミドルリーダー研修 ・日時 平成28年8月29日(第3回) ・参加人数 12人(内女性3名) ・内容 「ミドルリーダーに求められること」等</p>	3	3	2	2	2	研修の開催時間を昨年度同様夏休みの勤務時間に設定し、参加しやすいような配慮を行った。	2	教育委員会指導室	

No	事業
45	<p>管理職への女性職員・教員の登用比率を高めるため、数値目標を掲げ、その達成をめざします。</p> <p>◆女性職員の管理職登用 ◆女性教職員の管理職任用を積極的推進</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り進むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度事業実施度	【施策の進捗度】 1. 進んだ 2. やや進んだ 3. 現状維持 4. 進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
			(1)	(2)	(3)			
<p>研修、人事評価、上司によるOJT等を通じた女性職員の職域拡大に向けた育成を行うとともに、能力に基づき管理職へ登用した。</p> <p>管理的地位にある職員数 177名(うち女性 31名)</p>	1	2	1	1	1	<p>研修、人事評価、上司によるOJT等を通じた女性職員の職域拡大に向けた育成を行い、多様な職務経験を付与すべく、人事異動において勘案することにより、前年度実績を上回る結果となった。</p>	2	人事課
<p>和泉市立学校教職員人事基本方針の中に「女性教職員の管理職任用を積極的に推進する」と明記していることをふまえて、校長会等において積極的に働きかけを行い推進を図った。</p> <p>また、学校訪問時に女性教員の積極的な学校運営への参加を促し、管理職への意識づけを行うことを指示した。教育長による校長面談に、OJTや「教職員の評価・育成システム」等を活用して女性教員の計画的な育成を示した。</p> <p>H28年度 校長(小学校:3名 中学校:1名) 教頭(小学校:2名 中学校:2名)</p>	2	3	1	2	2	<p>女性の管理職が増えるよう、キャリアモデルのイメージをつませる。そのため女性の分掌長や教頭、校長のライフプランを発信していく。</p>	2	教育委員会指導室

施策⑩ 事業所や地域における意思決定の場への女性の参画促進

No	事業
46	<p>事業者等に対し、女性の活力があつてこそその経済成長であるとの認識に立って、ポジティブ・アクション(積極的改善措置)の導入等、女性の採用・管理職の登用の重要性について啓発します。</p> <p>◆ポジティブ・アクション(積極的改善措置)の周知 ◆事業者への積極的な情報提供</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り進むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度事業実施度	【施策の進捗度】 1. 進んだ 2. やや進んだ 3. 現状維持 4. 進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
			(1)	(2)	(3)			
<p>平成29年1月19日に大阪府との共催で実施した「ワーキングウーマン応援フェアinせんぼく」について加入事業所へ参加を促すことで、男女共同参画への理解を深めた。</p>	2	3	2	1	1	<p>女性活躍推進法や男女雇用機会均等法等について、会員事業所を中心に和泉市内の事業所に周知を推進を進める。</p>	2	商工労働室
<p>事業者に対する国・府からの情報については、商工労働室と連携し、双方から情報を発信した。</p> <p>また、市ホームページで、内閣府や大阪府また、男女共同参画に関係する団体等の施策や啓発情報をリンクさせることにより、市民が市ホームページからあらゆる情報を取得できる環境を整備。平成28年度は、女性活躍推進に関連することを掲載し周知の強化を図る。(広報いずみ4月号とともに啓発冊子の全戸配布・モアいずみ通信へ掲載) 更なる充実を図る。</p>	1	2	1	1	1	<p>引き続き情報収集に努める。連携しながら発信する。</p>	2	人権・男女参画室

No	事業
47	地域の各種団体の長等を選出する際において、女性役員の登用を積極的に行うよう啓発します。 ◆町会等への働きかけ(Ⅱ-6-14-37再掲) ◆老人クラブ連合会への働きかけ ◆地域の各種団体の長等を選出する際において、女性役員の登用を積極的に行うよう啓発する。

【今年度の事業の実施度】
 1.男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
 3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
 4.実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
 1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
 (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
 (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
 (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった			事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
		(1)	(2)	(3)				
11月校区会長会議(平成29年2月4日開催)「男と女のフォーラム」チラシの掲示依頼(再掲Ⅱ-6-14-37) (平成28年度) 町会連合会に属する町会長 203人(うち女性 14人 男性189人)	2	2	2	2	2	男女共同参画室との連携に努めることができた。今後も、連携を密に事業を実施していく。	2	公民協働推進室
老人クラブの若手会員を対象とする、高齢派の健康等生きがいづくりを推進するリーダーを育成を目的とするシニアクラブ大阪健康づくり大学校講座に参加した。男性1名、女性2名 H28年度老人クラブ連合会役員数:男性28名、女性4名、計32名	2	2	1	2	2	連合会役員へ女性が参画できるよう、積極的に女性の方にリーダー研修等を行えた。今後とも引き続き実施していく。	2	高齢介護室
社会教育団体等、各種団体の選出にいたっては、オアシスプランの意図を説明し、積極的な登用に向けて説明を行った。(再掲Ⅱ-6-14-37) 【役員人数】 和泉市PTA協議会(女性7人 男性18人)25人 和泉市青少年指導員協議会(女性1人 男性24人)25人 和泉市子ども会育成連絡協議会(女性4人 男性7人)11人 和泉市文化協会(女性4人 男性5人)9人	2	3	2	2	2	今後も引き続き、情報提供を行う。	2	生涯学習課

施策⑩ 女性の人材育成

No	事業
48	行政や地域で活躍できるよう人材を育成します。 ◆男女共同参画社会づくりアドバイザー養成講座の実施

【今年度の事業の実施度】
 1.男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
 3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
 4.実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
 1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
 (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
 (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
 (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった			事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
		(1)	(2)	(3)				
男女共同参画社会づくりアドバイザー養成講座を通じて、講座受講生のエンパワメントを図るため、平成28年度男女共同参画社会づくりアドバイザー養成講座を実施した。 (定員30人・申込人数19人・修了者数7人)	1	3	1	1	1	行政や地域で活躍できるよう人材育成を図る。	2	人権・男女参画室

No	事業
49	女性のさらなるエンパワメントをめざす講座を実施します。 ◆モアいずみ(男女共同参画センター)で講座・講演会等の実施

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課	
		1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持/進まなかった					(1)
・働く女性応援講座 タイトル: ストレスマネジメント～私らしく生きるには～ 「お金のこと」「心のこと」「からだのこと」 開催日: 平成28年7/1(金)、7/8(金)、7/14(木) 参加人数: 延べ41人/20人定員×3回 ・いきいきライブ講座 ①タイトル: 貧困から立ち上がって ～人との出会い、企業・・・そして世界一に輝くまで～ 開催日: 平成28年7/4(月) 参加人数: 31人(女性27人 男性4人)/30人定員 ②タイトル: 世界の女の子の今 ～”女の子だから”うける苦難と新たな未来～(1回) 開催日: 平成29年2/3(金) 参加人数: 26人(女性22人 男性4人)/30人定員	1	3		1	1	1	自分らしく生きることの素晴らしさに気づき、自分の生き方を深めることを目的に実施。 いきいきライブは男性の参加者もあり、男女がともに、参加・参画する必要性についての意識啓発をすることができた。	2	人権・男女参画室

No	事業
50	男女共同参画社会づくりアドバイザー養成講座の修了生や男女共同参画センター登録団体が、地域活動で活躍している状況等を通して、女性リーダーを発掘し、審議会委員等として活躍してもらえるように働きかけます。 ◆審議会等の市民委員への応募の働きかけ

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課	
		1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持/進まなかった					(1)
モアいずみ(和泉市男女共同参画センター)で開催されるネットワーク会議等で男女共同参画社会づくりアドバイザー養成講座修了生やモアいずみ(和泉市男女共同参画センター)登録団体に対し、随時審議会等の市民公募委員等に募集するよう働きかけを行った。	1	3		1	1	1	意思決定の場への参画推進についての意識醸成に努め、引き続き働きかけを行う。	2	人権・男女参画室

施策の方向(7) 男女共同参画で進める就労支援

施策⑭ 男女が共に働きやすい職場づくりのための支援

No	事業
51	男女共同参画推進事業者等事業者助成制度を利用した事業者の紹介をします。 ◆事業者の事例紹介

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課	
		1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持/進まなかった					(1)
平成28年度男女共同参画推進事業者等事業者助成制度実施について、企業人権協議会、商工会議所、テクノステージ和泉まちづくり協議会、医師会、公共施設等へのチラシの配架、広報いずみ(平成28年6月号)、モアいずみ通信(平成28年6月号)、市ホームページ掲載、及び、平成28年6月22日開催の企業人権協議会における事業説明等、制度についての周知を行った。しかし、「男女共同参画推進事業者等事業者助成金制度の申請が0件だった。	1	4		1	1	1	助成制度については、広く周知に努めているが、申請者が1件~0件で、事業者に向けての啓発が推進されていない状況が近年続いている。制度のあり方について、次年度に向けて他の手法の有無を検討する。	3	人権・男女参画室

No	事業
52	市の「男女共同参画推進事業者等事業助成制度」や国の「両立支援等助成金」の周知を積極的に行います。本市の事業助成について、推進事業のための支援をします。 ◆男女共同参画推進事業者等事業助成制度の周知

【今年度の事業の実施度】
1.男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4.実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】
1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
(1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
平成28年度男女共同参画推進事業者等事業助成制度実施について、企業人権協議会、商工会議所、テクノステージ和泉まちづくり協議会、医師会、公共施設等へのチラシの配架、広報いずみ(平成28年6月号)、モアいずみ通信(平成28年6月号)、市ホームページ掲載、及び、平成28年6月22日開催の企業人権協議会における事業説明等、制度についての周知を行った。	1	4	2	1	1	助成制度については、広く周知に努めているが、申請者が1件~0件で、事業者に向けての啓発が推進されていない状況が近年続いている。制度のあり方について、次年度に向けて他の手法の有無を検討する。	3	人権・男女参画室

No	事業
53	男女雇用機会均等法や労働基準法、育児・介護休業法等、労働に関する法律や制度に関する情報の周知を図ります。 ◆法律や制度に関する情報の周知 ◆事業者への積極的な情報提供

【今年度の事業の実施度】
1.男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4.実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】
1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
(1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
毎月第1日曜日及び第2金曜日に社会保険労務士による労働相談を実施し、セクハラ・パワハラを含むトラブルを労使間での自主解決などを円滑に行えるよう助言するとともに、労働に関する様々な法律や制度に関する情報の周知に寄与。	2	3	1	1	1	セクハラ・パワハラを含む労使間トラブルをなくすため、労働に関する様々な法律や制度に関する情報を周知を推し進める。	2	商工労働室
事業者に対する国・府からの情報については、商工労働室と連携し、情報を発信した。市ホームページでは、女性活躍「見える化」サイトの掲載や、大阪府女性活躍推進月間(9月)にあわせ、市ホームページで掲載し、啓発を行った。	1	2	1	1	1	情報収集に努め、収集した情報は積極的に発信する。	2	人権・男女参画室

No	事業
54	<p>男女雇用機会均等法の定着を図る中で、企業・団体等においてセクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント等防止の研修の重要性を働きかけます。</p> <p>◆セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント等防止研修会の実施</p> <p>◆男女共同参画推進事業者等事業助成制度の周知</p>

【今年度の事業の実施度】
1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
(1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.紹介 5.廃止	担当課
			(1)	(2)	(3)			
<p>加入事業所に対し、セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント等の研修会への参加を促した。</p> <p>H28年度 研修会参加実績</p> <p>①4月8日 3人 ②6月21日 2人 ③6月23日 2人 ④7月15日 1人 ⑤7月21日 2人⑥8月25日 2人 ⑦9月15日 3人 ⑧10月20日 3人 ⑨11月17日 3人 ⑩12月15日 1人⑪1月19日 1人 ⑫2月3日 1人 ⑬2月16日 1人 合計25人</p>	2	3	1	1	1	<p>加入事業所をはじめとする和泉市内の事業所に対し、どのような言動がセクシュアルハラスメント、パワーハラスメント等に該当するのかの研修実施、相談窓口の設置を呼びかける。</p>	1	商工労働室
<p>男女共同参画推進事業者等事業助成制度について説明する際に、事業者に対しセクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント等防止の重要性について説明し、申請を促す。</p> <p>また、商工労働室労働政策担当が開催する、協議会等があるときは、企業に向けて、セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント等防止について働きかけてもらうよう依頼を行った。</p>	1	3	2	1	1	<p>助成制度については、広く周知に努めているが、申請者が1件~0件で、事業者に向けての啓発が推進されていない状況が近年続いている。制度のあり方について、次年度に向けて他の手法の有無を検討する。</p>	3	人権・男女参画室

No	事業
55	<p>男女の均等な雇用の機会と待遇確保が実現されるよう「男女雇用機会均等月間」等の周知に努めます。</p> <p>◆「男女雇用機会均等月間」等の周知</p> <p>◆男女雇用機会均等月間等についての周知</p>

【今年度の事業の実施度】
1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
(1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.紹介 5.廃止	担当課
			(1)	(2)	(3)			
<p>平成28年6月22日に実施した和泉市企業人権協議会総会や、その他研修等において周知を図った。</p>	2	2	2	1	2	<p>「男女雇用機会均等月間」等の周知を総会や研修会以外の場所においても、周知していく。</p>	1	商工労働室
<p>厚生労働省では、毎年6月を「男女雇用機会均等月間」と定め、職場において男女が共に能力を発揮できる社会の実現をめざし、取り組んできた事業であるが、平成27年6月に30回となり、男女雇用機会均等法が施行されて30年を迎えたので、その年で終了となりました。このため、平成28年度から廃止となります。</p>	4	4	3	3	3	<p>今後については、事例研究を行い、引き続き、男女が働きやすい職場作りのための支援を行っていく。</p>	3	人権・男女参画室

No	事業
56	<p>様々な媒体を通じて、仕事と育児・介護の両立支援制度や女性の管理職を増やすポジティブ・アクション(積極的改善措置)等、女性の就労継続のための情報を提供します。</p> <p>◆女性の就労継続のための情報提供</p>

【今年度の事業の実施度】
 1.男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
 3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。(2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
 4.実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】
 1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
 (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
 (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
 (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施に当たり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.紹介 5.廃止	担当課
			(1)	(2)	(3)			
<p>【働く女性の応援講座】 ストレスマネジメント～私らしく生きるには～ ①7/1「お金のこと」知って安心!「ライフ&マネープランニング」 参加人数12人/20人定員 ②7/8「心のこと」自分を知る、自分を伝える「コミュニケーション術」 参加人数17人/20人定員 ③7/14「からだのこと」ストレッチで「リラクゼーション」 参加人数12人/20人定員</p> <p>【再就職チャレンジ支援講座】 (1)「自分らしく働く」を考える～働き方とお金の話～(3回) ①5/30 起業とお金～開業・確定申告・扶養・補助金を知ろう～ 参加人数27人(女性26人男性1人)/20人定員 ②6/13 賢く働く 38万、103万、130万の壁と家計～税金・扶養・年金を正しく知ろう～ 参加人数31人(女性30人男性1人)/20人定員 ③6/20 仕事と家計～生活のお金と貯金の方法～ 参加人数27人(女性26人男性1人)/20人定員 (2)「女性のための「お仕事」応援セミナー」(3回) ①11/2 ビジネスメイクアップセミナー～実践編～ 参加人数10人(すべて女性)/20人定員 ②11/11 再就職をめざす女性のマザーズセミナー～仕事の準備とお金の話～ 参加人数12人(すべて女性)/20人定員 ③12/1 プチ起業～私だからできる企業への第一歩～ 参加人数17人(すべて女性)/20人定員 ・モアいずみ通信6月号で、「仕事と介護の両立」について掲載し、情報提供を行った。</p>	2	3	1	1	1	<p>今後も引き続き、ハローワーク、商工労働室と連携し、情報提供や講座の実施に取り組み、再就職を支援する。</p>	1	人権・男女参画室

施策⑫ 女性の就労支援

No	事業
57	<p>出産等で離職した女性や起業等をめざす女性を支援するため、講座や能力開発のための講習等を実施します。</p> <p>◆若者支援セミナー・職業能力開発事業 ◆再就職チャレンジ支援講座の実施</p>

【今年度の事業の実施度】
 1.男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
 3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。(2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
 4.実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】
 1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
 (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
 (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
 (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施に当たり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.紹介 5.廃止	担当課
			(1)	(2)	(3)			
<p>若者支援セミナーにおいては66名、介護職員初任者研修講習会では12名の女性に参加いただいた。 また、ハローワーク泉大津、男女共同参画担当と連携し、全3回の女性のための「お仕事」応援セミナーを実施。</p>	1	1	1	1	1	<p>職業能力開発講習会内のフォーキフト運転技能などの女性受講者が少ない講習会において、女性の受講者を増やすため、様々な媒体を用いて周知していく。</p>	1	商工労働室
<p>・再就職チャレンジ支援講座 (1)「自分らしく働く」を考える～働き方とお金の話～(3回) ①5/30 起業とお金～開業・確定申告・扶養・補助金を知ろう～ 参加人数: 27人/20人定員 ②6/13 賢く働く 38万、103万、130万の壁と家計 ～税金・扶養・年金を正しく知ろう～ 参加人数: 31人/20人定員 ③6/20仕事と家計～生活のお金と貯金の方法～ 参加人数27人/20人定員 (2)「女性のための「お仕事」応援セミナー」(3回) ①11/2 ビジネスメイクアップセミナー～実践編～ 参加人数: 10人/20人定員 ②11/11再就職をめざす女性のマザーズセミナー ～仕事の準備とお金の話～ 参加人数: 12人/20人定員 ③12/1プチ起業～私だからできる企業への第一歩～ 参加人数: 17人/20人定員</p>	1	3	1	1	1	<p>定員以上の受講者があつた講座もあり、再就職を希望する女性が増加してきていると考える。 今後も引き続き、情報提供や講座の実施に取り組み、再就職を支援する。</p>	1	人権・男女参画室

No	事業
58	和泉市無料職業紹介センターにおける女性に対する職業紹介や相談、情報提供を充実します。 ◆和泉市無料職業紹介センター事業

【今年度の事業の実施度】
1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】
1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
(1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】				事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持	4.進まなかった				
昨年度同様、様々なニーズに対応した相談や職業紹介を行うことで、目標値を大きく上回ることが出来た。 無料職業紹介センターからの紹介による就職者 142人(うち女性 81人)	2	3	1	2	1	どのような職業であっても、男性・女性ともに働くことが出来ることを周知していく。	1	1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 紹介 5. 廃止	商工労働室

No	事業
59	ハローワークとの連携を図り、職業相談、紹介の情報提供を積極的に行います。 ◆就職情報フェア事業

【今年度の事業の実施度】
1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】
1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
(1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】				事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持	4.進まなかった				
平成28年9月16日と平成29年2月16日の2回、合同面接会を開催し、合計340名の参加があった。 うち、25名が就職し、一定の成果を上げることが出来た。	2	3	2	1	1	女性活躍推進法に基づき、女性の正社員登用を推し進めていく。	1	1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 紹介 5. 廃止	商工労働室

No	事業
60	起業しようとしている市民に対して、セミナーや相談窓口の情報の周知を図ります。 ◆若者支援セミナー ◆和泉市産業振興プラザ事業の情報提供・セミナーの実施 ◆セミナーや相談窓口の情報提供

【今年度の事業の実施度】
1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】
1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
(1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】				事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持	4.進まなかった				
子どもが小さいなどの理由で外に働きに出ることが出来ない女性等をターゲットとした「ネットを利用した在宅ワーク〜クラウドソーシング〜を始めよう」セミナーを実施。また、ハローワーク泉大津、男女共同参画担当と連携し、全3回の女性のための「お仕事」応援セミナーを実施。	1	1	1	1	1	就職活動において印象を良くするためのカラーコーディネート等、新たな分野のセミナーを検討し開催する。	1	1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 紹介 5. 廃止	商工労働室

年間を通し、和泉市産業振興プラザにて自営業等に従事する市民に対し、販路開拓支援、支援事業等の紹介、補助金申請相談、技術相談、情報収集、その他相談等の実施、各種セミナーの開催 ・平成28年度 相談実績 平成28年4月1日から平成29年3月31日 相談等の総件数 776件 うち女性を含んだ件数143件 ・平成28年度 和泉市職業能力開発奨励補助金交付実績 男性8人 女性8人 合計16人	1	3	1	1	1	男女を問わず、自営業等に従事する市民に対し、だれでも相談できるように事業を行っており、今後も引き続き支援に努めていく。	2	商工労働室
モアいずみ(男女共同参画センター)で実施する再就職チャレンジ支援講座の受講生に対して、商工労働室のセミナーの情報を提供し、モアいずみが開催する再就職チャレンジ支援講座を商工労働室やハローワークへ情報提供する。	1	3	1	1	1	今後も引き続き、情報提供に取り組む。	2	人権・男女参画室

No	事業
61	<p>自営業等に従事する市民を対象に相談・指導、場所の提供等の情報提供を行います。</p> <p>◆和泉市産業振興プラザ事業の情報提供・セミナーの実施(Ⅱ-7-20-60再掲)</p> <p>◆女性就労のため相談・指導・情報提供</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
 - (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
 - (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
 - (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1. 進んだ 2. やや進んだ 3. 現状維持 4. 進まなかった	事業の企画や実施に当たり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
			(1)	(2)	(3)			
年間を通し、和泉市産業振興プラザにて自営業等に従事する市民に対し、販路開拓支援、支援事業等の紹介、補助金申請相談、技術相談、情報収集、その他相談等の実施、各種セミナーの開催 ・平成28年度 相談実績 平成28年4月1日から平成29年3月31日 相談等の総件数 776件 うち女性を含んだ件数143件 ・平成28年度 和泉市職業能力開発奨励補助金交付実績 男性8人 女性8人 合計16人	1	3	1	1	1	男女を問わず、自営業等に従事する市民に対し、だれでも相談できるように事業を行っており、今後も引き続き支援に努めていく。	2	商工労働室
相談の際に、配慮をしながらの対応を想定したが、実際の相談はなかった。	4	3	3	2	1	今後も、引き続き対応が必要となる場合は配慮しながら行う。	2	農林課

No	事業
62	<p>農業の重要な担い手として、農業女性の資質の向上を図るため、農業女性活動組織の育成・支援を行います。</p> <p>◆農業経営担い手育成事業</p> <p>◆和泉ファームステイ</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
 - (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
 - (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
 - (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1. 進んだ 2. やや進んだ 3. 現状維持 4. 進まなかった	事業の企画や実施に当たり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
			(1)	(2)	(3)			
事業案内のホームページに女性が作業している写真を掲載するなど、より女性が参加しやすいように配慮した。 1 農業経営担い手育成新規就農研修 参加者3名(男3女0) 2 和泉農業担い手塾 参加者10名(男5女5)	2	3	3	2	2	今後も募集の際には、より女性が参加しやすい雰囲気となるよう配慮しながら実施していく。	2	農林課
援農ボランティアの募集に関して、ホームページ・ポスター等に女性が作業を行う様子の写真を使い、より女性が参加しやすいよう配慮した。女性が作業しやすいと思われる園地に振り分けるなどの配慮を行った。 参加者総数 6名(男性3名、女性3名)	2	2	3	2	2	事業実施にあたって、より女性が援農活動に従事しやすいよう配慮した。	2	農林課

No	事業
63	高齢者に対する経済的自立に向けた就労の機会の拡大と、雇用の安定を企業等に働きかけます。 ◆求人開拓事業 ◆シルバー人材センター運営補助事業の実施

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度事業実施度	【施策の進捗度】 1. 進んだ 2. やや進んだ 3. 現状維持 4. 進まなかった			事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
		(1)	(2)	(3)				
本事業については和泉商工会議所へ委託しており、高齢者・女性及び就職困難者向けの求人情報を収集し、就職に結びつけることが出来た。	2	3	2	2	2	女性活躍推進法に基づき、再就職を目指す女性のためのフルタイム求人など、昨今のニーズにマッチした求人情報を収集していく。	1	商工労働室
補助金というかたちで間接的にシルバー人材センターの活動の支援を行った。また老人クラブなどの高齢者が集う集まりで、シルバー人材センターの紹介などを行った。	2	2	2	2	2	引き続き、働きかけを行う必要がある。	2	高齢介護室

施策の方向(8) 男女共同参画で進める地域づくり

施策① 性別・年齢に関わりなく、すべての人が担う地域活動のための支援

No	事業
64	若者、働き盛り世代、定年を迎えた世代等が地域活動に参加するきっかけをつかめるよう、学習や交流の場の充実を図るとともに、情報提供を工夫します。 ◆和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業 ◆成人教室の内容の充実と情報提供の工夫

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度事業実施度	【施策の進捗度】 1. 進んだ 2. やや進んだ 3. 現状維持 4. 進まなかった			事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
		(1)	(2)	(3)				
ボランティア団体やNPO法人といった市民活動団体が行う事業に対して、市民のみなさんが支援したいこれらの事業を行う団体を選択し、市へ届出をすることにより、その選択届出数に応じて市がその市民活動団体の実施する事業へ支援金を交付する。平成28年度は37団体。投票率13.6%	2	3	3	1	1	28年度は、37団体に対して、投票率13.6%であった。今後も、男女問わず、施策決定に関与することができるように努めるとともに、より多くの市民のみなさまに投票してもらえるように努力する。	2	公民協働推進室
広報いずみやホームページでの紹介のみならず、各種講座開催の際に、情報の提供を行った。	2	3	2	2	2	今後も引き続き、情報提供を行う。	2	生涯学習課

No	事業
65	<p>男女が共に担う地域活動に関する支援制度の強化、充実を図ります。</p> <p>◆和泉ボランティア・市民活動センター、アイ・あいロビー 管理運営事業</p> <p>◆男女共同参画推進事業(オアシス)助成金事業の実施</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】				事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持	4. 進まなかった				
<p>アイ・あいロビー教室 毎月第3土曜日開催【参加者162名】</p> <p>普通救命講習会 毎月第1日曜日開催【参加者45名】</p> <p>夏休み親子ふれあいキャンプ平成28年8月7日開催参加者107名(女53名・男54名)定員親子30組</p> <p>夏休み親子福祉体験講座 平成28年8月24日開催 参加者18名</p> <p>ボランティア・市民活動交流サロン 平成28年7月・平成29年1月開催 参加者計160名(女135名・男25名)定員計100名</p> <p>ボランティア・市民活動入門講座 平成28年9月14日開催 参加者35名(女30名・男5名)定員30名</p> <p>他、ボランティア・市民活動フェスティバルイベント 参加者1,700名を開催。</p>	2	2	3	1	1	市制60周年の年でもあり、イベント参加者が増加し、目標値を超える参加者を得た。今後も、男女参画社会の実現に寄与するための施策を実施する。	2	公民協働推進室	
<p>平成28年度男女共同参画推進事業(オアシス)助成金交付団体</p> <p>①「ちゃんと学ぼう♪自分のための「性」講座(中学生)」</p> <p>「ちゃんと学ぼう♪私と子どものための「性」講座(一般)」： NPO法人和泉100人委員会</p> <p>②ママ/パパ、家でできるフランス料理のお菓子里に初挑戦！：ローズウッド</p> <p>③土鍋とフライパンでつくる”男性のための簡単自己完結型料理：いずみヒューマンネット</p> <p>④わくわく科学実験事業：モア21</p> <p>⑤「いのちの詩」～子どもの心はダイヤモンド～：和泉国際交流会ICIX</p> <p>⑥自分らしき満載！オリジナル年賀状講座：パソコンサークル”click”</p>	1	3	1	1	1	目標値を達成するために、今年度は、男女共同参画しやかいづくりアドバイザー養成講座(上級)として、「企画力を高めてスキルアップ！」を実施し、また、ネットワーク会議等での事前説明を行う等、オアシス助成金事業についての理解の促進を図り、より多くの団体に申請できるよう努める。	2	人権・男女参画室	

No	事業
66	<p>PTA、子ども会、自治会、地域ボランティア等の活動に、男女が共に参加・参画できるよう啓発します。</p> <p>◆和泉ボランティア・市民活動センター、アイ・あいロビー 管理運営事業</p> <p>◆和泉市PTA協議会・子ども会育成連絡協議会への情報提供</p> <p>◆和泉市地域福祉推進事業</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】				事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持	4. 進まなかった				
ボランティア登録数65名(女性42人:男性23人)	2	2	3	1	1	男女比率目標を達成した。引き続き、目標達成に向けて取り組む。	2	公民協働推進室	
女と男のフォーラム等、イベント情報を積極的に情報提供した(再掲 I-4-8-24)	2	3	2	2	2	今後も引き続き、情報提供を行う。	2	生涯学習課	

<p>【協議の場の開催実績】 南池田校区(2回、延べ参加者数48名)、北松尾校区(6回、延べ参加者数114名)、南横山校区(1回、延べ参加者数17名)、信太校区(1回、延べ参加者数40名)、鶴山台南校区(1回、延べ参加者数8名)、鶴山台北校区(1回、延べ参加者数30名)、緑ヶ丘校区(11回、延べ参加者88名)、光明台南校区(4回、延べ参加者80名)、光明台北校区(4回、延べ参加者66名)、青葉はつが野校区(12回、延べ参加者153名) 【協議の場をきっかけとした活動】 南池田・光明台北校区⇒認知症高齢者等SOSおかせりネットワーク見守り声かけ訓練の実施 北松尾・緑ヶ丘・光明台南校区⇒認知症サポーター養成講座の開催 鶴山台北⇒高齢者サポートセンターの発足 緑ヶ丘校区⇒広報紙の作成 北松尾・緑ヶ丘・青葉はつが野校区⇒勉強会・研修会の開催。</p>	3	3	3	2	2	「協議の場」の未設置の8校区については引き続き拠点整備を進めるとともに、平成29年度からは協議の場で共有された地域の課題を地域住民が解決していくための住民活動の支援を進めていく。	2	福祉総務課
---	---	---	---	---	---	---	---	-------

施策② 男女共同参画の視点に立った防災体制の整備

No	事業
67	<p>子育て中の家族、高齢者、障がいのある人、在住外国人等様ざまな人々のニーズの違いを反映した防災・災害復興対策を推進するために、自主防災組織や町会・自治会等に女性の参画を促進します。 ◆市民防災啓発事業</p>

【今年度の事業の実施度】
1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映しただけで取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】
1. している 2. 部分的にしている 3. していない ①で評価
(1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度事業実施度	【施策の進捗度】			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課	
		1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持				
平成28年度21回開催(836人参加)	1	3	1	1	1	出前講座の内容については、防災においては男性だけではなく女性の視点も非常に重要であるということ盛り込んだものとしている。	2	公民協働推進室

No	事業
68	<p>災害・復興時の自助・共助や地域コミュニティが、重要であるという観点に立った啓発を行います。 ◆市民防災啓発事業 ◆男女共同参画社会づくりアドバイザー養成講座の実施</p>

【今年度の事業の実施度】
1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映しただけで取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】
1. している 2. 部分的にしている 3. していない ①で評価
(1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度事業実施度	【施策の進捗度】			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課	
		1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持				
平成28年度21回開催(836人参加) (再掲Ⅱ-8-22-67)	2	3	1	1	1	出前講座の内容については、「自助、共助、公助は7:2:1の割合であるとされている」など、自助と共助の重要性を盛り込んだものとしている。	2	公民協働推進室
例年実施している「男女共同参画社会づくりアドバイザー養成講座」のなかで、防災の講座を開催。10月27日 午前:「災害に備えて」 午後:「救命講習会(救命入門コース)」 参加人数:15人/定員30人	1	3	1	1	1	引き続き、男女共同参画の視点を持った防災に関する講座を実施していく。	2	人権・男女参画室

No	事業
69	<p>地域における防災リーダーとして、女性消防クラブ等の充実を図ります。</p> <p>◆和泉市女性消防クラブ連合会視察研修会</p> <p>◆和泉市ブロック別防災訓練</p> <p>◆市民防災育成事業</p>

【今年度の事業の実施度】
 1.男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
 3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
 4.実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
 1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
 (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
 (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
 (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持	4.進まなかった	(1)	(2)			
平成28年8月26日(金) 7時～終日(女性167名) 和歌山市消防局防災学習センターで防災体験の研修を実施した。	1	2	1	1	1				2	消防予防課
平成28年11月6日(日) 8時～12時(女性35名) 和泉市立信太中学校にて防災訓練があり応急処置方法を地域住民に説明し、また、非常炊き出し訓練では迅速にカレーライスを調理し地域住民に提供した。	2	2	1	1	1				2	消防予防課
地域防災リーダー養成講座の開催にあたり、女性参加を推進したことにより、防災リーダー認定者49名のうち、女性が18名(36.7%)を占めた。講座内においては、防災・減災施策を推進するうえにおいて、例えば、避難所運営の場面においてはその責任者の中に女性の参画が必要であることについて、過去の災害事例を踏まえて講義を行った。また、グループワーク時には、一つのテーブルに男女が混合するようにし、性別による気付きを共有できるような工夫を施した。	1	2	1	1	1			地域における防災・減災施策を推進するうえでは、女性の参画が欠かせない。このため、講座受講者における女性の割合を増やすために、一般的な広報を行うのみならず、女性消防クラブ員に働きかけを行うなど、女性の参画を積極的に推進した。	2	公民協働推進室

No	事業
70	<p>男女共同参画の視点を取り入れた、防災計画や防災マニュアルの策定に努めます。</p> <p>◆地域防災計画事業</p>

【今年度の事業の実施度】
 1.男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
 3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
 4.実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
 1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
 (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
 (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
 (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持	4.進まなかった	(1)	(2)			
平成27年4月に変更を行ったことから、平成28年度においては防災計画や防災マニュアルの変更は行わなかったが、次期改正に向けて男女共同参画の視点を取り入れて改正できるよう調査・研究を行っている。	2	3	1	1	1			平成28年度はマニュアル等の変更は行わなかったが、次期改正に向けて、男女共同参画の視点を取り入れて改正できるよう調査・研究を行っていく。	2	公民協働推進室

施策② 高齢者、障がい者、外国人等が安心して暮らせるまちづくり

No	事業
71	ひとり暮らしの高齢者に対し、生活支援をするとともに、社会的孤立を防ぎ、地域社会との交流を深めるための生きがいを推進します。 ◆街かどデイハウス ◆ふれあい食事サービス助成事業 ◆老人クラブ活動補助事業

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1. 進んだ 2. やや進んだ 3. 現状維持 4. 進まなかった			事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
65歳以上で要支援・要介護の認定を受けていない方や未申請の方が利用でき、介護予防活動やレクリエーションを通じて、住民同士の交流が図れた。	2	2	2	2	2	街かどデイハウスの利用人数の減少が見られるため、地域住民の交流の場として幅広く周知啓発を行う必要がある。	2	高齢介護室
地域の集会所等を利用して高齢者に対して食事サービスを提供するボランティア団体に、参加者一人一日当たり500円の助成金を交付し、市民の積極的な社会福祉活動を促し、高齢者の生きがい対策を推進した。 平成28年度においては、信太校区、北松尾校区、緑ヶ丘校区、伯太校区において実施。 延べ利用人数 1,506人、延べ実施回数 66回	2	3	3	2	2	ボランティア団体の辞退等があり、参加者数は目標値に及ばなかったが、地域には活動が根付いている。食事をツールとして、高齢者の健康チェックや体操、幼稚園児との交流など様々な介護予防にも努めており、高齢者の生きがいに役立っている。	2	高齢介護室
老人クラブ活動の活発化を図り高齢者福祉の増進につなげた。 社会福祉・地域福祉の増進を図るため助成を行った。 老人クラブがあることで高齢者同士の親睦や助け合い等地域での自立生活の励みとなった。 老人クラブ連合会の発展の励みとなった。	1	1	1	1	1	もともと女性が積極的に参加している老人クラブだが、役員にも女性が入り、ますます女性の活躍が見込まれる。引き続き活動指標である会員数の増加をめざす。	2	高齢介護室

No	事業
72	利用できる福祉サービスや地域の社会資源のネットワークを市民が活用できるよう、あらゆる機会を通じて市民に情報提供を行います。 ◆地域包括支援センターの実施 ◆和泉市障がい者基幹相談支援センター等での情報提供 ◆和泉市地域福祉総合相談員配置促進事業

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1. 進んだ 2. やや進んだ 3. 現状維持 4. 進まなかった			事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
何らかの支援が必要な高齢者に対して、地域包括支援センターの職員が相談に応じ、必要なサービスにつなげたり、助言等をおこなった 地域包括支援センター総合相談件数 3,148件	2	2	2	2	2	高齢者人口が増えるにつれて相談件数も増加してきており、それに対応できるような人員体制等の構築が必要	2	高齢介護室

利用できる福祉サービスや地域の社会資源において、基幹相談支援センター等において、福祉サービス等の制度・日中活動系の事業所や居宅介護事業所の情報提供を行った。 情報提供の内容としては、福祉サービス等の制度・日中活動系の事業所や居宅介護事業所の情報等多岐に渡る。基幹相談支援センターと委託相談支援事業所3ヶ所の合計年間相談件数は9,124件(延べ)、うち、福祉サービスの利用等に関する支援が4,711件(延べ)となっている。	2	3	3	1	1	引き続き、利用できる福祉サービスや地域の社会資源についての情報提供を行う。	2	障がい福祉課
市内8か所に計13名の相談員を配置し、年齢、障がいの有無に関わらず相談対応を行った。 相談者数 741名【男:313名 女:416名 不明:12名】(平成29年3月末) 相談者の性別について、相談受付の際に相談者の基礎情報として確認している。	2	1	2	2	2	事業の認知度を高めるため、チラシの全戸配布を行った。	2	福祉総務課

No	事業
73	<p>高齢者、障がいのある人、子どもが安心して暮らせるよう、バリアフリーのまちづくりを推進します。</p> <p>◆市営住宅建替事業 ◆新規事業、改修時における公園施設(園路、トイレ等)のバリアフリー化 ◆交通安全施設整備事業</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】				事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持	4.進まなかった				
平成29年1月に唐国住宅建替工事の住民説明会を行い、2月から唐国住宅建替工事着手。平成31年の完成を目標に、和泉市営の木造住宅6ヶ所の住民を集約するよう進めている。幸・王子地区については、まちづくり構想図のたたき案を作成し、今後の方向性を検討した。	1	1	1	1	1	唐国住宅建替事業については、工事の事前説明会を行い平成31年の完成に向け工事を行っている。幸・王子地区については、地域の課題を把握することに努め、まちづくり構想のたたき案を基に方向性を検討する予定である。	2	建築住宅課	
平成28年度はバリアフリー化事業はなし。	4	3	3	3	3	平成28年度はバリアフリー化事業はなし。	2	公園緑地課	
誰もが安全に安心して通行できるよう、歩道のバリアフリー化整備に向けた歩道詳細設計を実施。	2	1	3	3	1	平成29年度から歩道整備を実施できるよう、詳細設計を行った。今後は、財源確保に努め、平成32年度までに全ての特定経路のバリアフリー化を行っていく。	2	道路河川室	

No	事業
74	日本語学習が外国人にとって地域社会で生きていくための基盤となるよう、教室活動そのものが日常生活における対等な人間関係や地域でのネットワークの構築につながっていくよう、「日本語サロン」(和泉市国際交流協会)と連携します。 ◆日本語サロン

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持				
外国人住民と地域住民とのネットワークづくりを目的とし、ボランティアが外国人住民の日本語学習サポートを行う日本語サロンを実施し、外国人住民に周知しました。広報紙、ホームページだけでなく、公共施設でのポスター掲示や、学校・園、保育園等を通じてチラシの配付を行った。	2	3	3	2	2	サロン生・日本語ボランティア共に増加しており、皆やる気に満ちて活気がある。	2	人権・男女参画室

No	事業
75	内閣府「定住外国人施策ポータルサイト」等の情報提供を積極的に進めます。 ◆外国人情報コーナー(市ウェブページに掲載)

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持				
外国人が日本で生活するうえで必要となる情報を得られる「内閣府 定住外国人施策ポータルサイト」や「大阪府外国人情報コーナー」等について、ホームページ等で情報提供を行いました。また、外国人市民の日本語学習をサポートする日本語サロンにおいて、行政・生活情報について適宜提供を行った。	2	3	3	2	2	外部リンクが中心だったが、多言語版和泉市生活ガイドを掲載した。	2	人権・男女参画室

基本目標Ⅲ 自立を支えあうまちをつくる 施策の方向 9 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)実現のための支援

施策④ ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)という考え方の推進

No	事業
76	市民や事業者に向けてワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の意義や働き方を見直す必要性等についての情報提供を行います。 ◆和泉市企業人権協議会等への情報提供 ◆男女共同参画社会づくり講座の実施 ◆広報紙、ホームページ、モアいずみ通信での情報提供 ◆男女共同参画推進事業者等事業者助成制度の情報提供

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持				
和泉市企業人権協議会が実施する事業等で、ワーク・ライフ・バランスの情報提供を行うとともに、商工労働室の窓口にリーフレットを置くことで、来庁者に対しても周知を図った。	2	2	2	1	1	残業の上限規制(月60時間、年720時間)についての周知を積極的に行うことで、ワーク・ライフ・バランスに対する意識向上を図っていく。	1	商工労働室

例年実施している「男女共同参画社会づくりアドバイザー養成講座」のなかで、ワーク・ライフ・バランスの講座を開催。 日時:9月29日(木)午前・午後(第3回) タイトル:ワーク・ライフ・バランス～子育て・働き方・お金のこと～ 参加人数:21人/定員30人	1	3	1	1	1	今後も引き続き、講座を実施し、啓発する。	2	人権・男女参画室
・平成28年4月号広報いずみにてワーク・ライフ・バランスについての啓発記事を掲載し、意義等の意識の醸成を図り、平成28年9月号では、介護の視点から、男性の家庭への参画の必要性についての啓発記事を掲載した。また、モアいずみ通信6月号において、「仕事と介護の両立」についての記事を掲載した。 ・モアいずみ(男女共同参画センター)の図書コーナーにあるチラシ棚に、大阪府や各自治体のチラシを配架し、情報提供を行った。	1	2	1	1	1	今後も引き続き、情報を収集し、ワーク・ライフ・バランスの必要性等について情報提供していく。	2	人権・男女参画室
平成28年度男女共同参画推進事業者等事業者助成制度実施について、企業人権協議会、商工会議所、テクノステージ和泉まちづくり協議会、医師会、公共施設等へのチラシの配架、広報いずみ(平成28年6月号)、モアいずみ通信(平成28年6月号)、市ホームページ掲載、及び、平成28年6月22日開催の企業人権協議会における事業説明等、制度についての周知を行った。 (Ⅱ-7-19-52再掲)	1	3	2	1	1	助成制度については、広く周知に努めているが、申請者が1件～0件で、事業者に向けての啓発が推進されていない状況が近年続いている。制度のあり方について、次年度に向けて他の手法の有無を検討する。	3	人権・男女参画室

No	事業
77	男性向けに働き方見直しセミナーを実施します。 ◆男女共同参画社会づくり講座の実施 ◆男性学講座の実施

		【今年度の事業の実施度】 1.男女共同参画の視点をしっかりと取り進むことができた。 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。 3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。 4.実施していない。				【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】 1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価 (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。 (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。 (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。		
実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課		
子育て応援講座 ①タイトル:「パパとデコろう!簡単ふんわりパパオムライス」 開催日:10月22日(土)午前・午後の2回実施 参加人数:午前12組、午後6組 合計18組(35人)/24組定員 ②子どもサイエンスキャンパス タイトル:「パパと実験やってみよう!「虹の万華鏡」光のスペクトルの美しさを楽しもう」 開催日:10月2日(日) 参加人数:6組(15人)/15組定員	1	3	1	1	1	引き続き、父親が参加しやすいよう、土日に実施する等の配慮に努め、ワーク・ライフ・バランスについての意識啓発に努める。	2	人権・男女参画室
男性学講座 「男性のためのライフアップセミナー」(全2回) ①男性が介護するということ～「ケアメン」を生きる～ 開催日:平成29年2月15日(水) 参加人数26人(男性19人 女性7人)/20人定員 ②簡単な運動で、健康寿命～心も体もリフレッシュ～ 開催日:平成29年2月22日(水) 参加人数15人(男性15人 女性0人)/20人定員	1	3	1	1	1	①については、参加人数が定員を超えた。引き続き介護に関する講座等を開催し、男性が家庭参画することの重要性を啓発していく。	2	人権・男女参画室

施策② 男性も女性も、仕事と子育てや介護の両立ができる環境の整備

No	事業
78	次世代育成支援対策推進法に基づく、事業者としての行動計画策定を支援します。 ◆次世代育成支援対策推進法における事業所行動計画策定にかかる助言 ◆男女共同参画推進事業者等事業者助成制度の実施

		【今年度の事業の実施度】 1.男女共同参画の視点をしっかりと取り進むことができた。 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。 3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。 4.実施していない。				【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】 1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価 (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。 (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。 (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。		
実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課		
平成27年3月に「和泉市子ども・子育て応援プラン」が策定され、相談体制はとっていたが、相談はなかった。	2	3	2	2	2	今後引き続き相談体制の充実を図る。	2	子ども未来室

平成28年度については、次世代育成支援対策推進法に基づく事業者としての行動計画を策定するにあたり、男女共同参画推進事業者等事業助成制度を利用した事業者の申請は0件だった。	4	4	2	1	1	助成制度については、広く周知に努めているが、申請者が1件~0件で、事業者に「向けて」の啓発が推進されていない状況が近年続いている。制度のあり方について、次年度に向けて他の手法の有無を検討する。	3	人権・男女参画室
---	---	---	---	---	---	--	---	----------

No	事業
79	<p>「和泉市こども・子育て応援プラン」に基づいて、妊娠・出産・子育て期における継続就業に向けた子育て支援の充実をめざします。</p> <p>◆一時預かり、障がい児保育、延長保育、休日保育、夜間保育、病後児保育事業、病児保育事業（H28～新規事業）</p> <p>◆母子健康手帳交付、乳幼児健康診査</p> <p>◆留守家庭児童会の充実</p>

【今年度の事業の実施度】
1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
(1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった			【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】 (1) (2) (3)			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
		(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)			
【H28実施箇所数】 一時預かり14か所、障がい児保育27か所、延長保育29か所、休日保育1か所、夜間保育1か所、病児保育事業1か所、病後児保育事業1か所、合計74か所	1	2	3	1	1			新たに病児保育事業が増え、子育てサービスにおいて対応できる幅が広がった。	1	こども未来室
母子健康手帳発行数 1,313人。発行時、育児休業給付金や働きながら母親になる人向けのパンフレット配布。 4か月健康診査受診者数1,341人(受診率95.4%)、1歳6か月児健康診査受診者数1,404人(受診率94.4%)、3歳6か月児健康診査受診者数1,608人(受診率91.0%)。健診時、育児の協力状況などを確認し、必要時、保育園申請や育児支援サービスなどの情報提供を実施。	2	3	1	1	1			子育て支援の充実を図るため、今後も事業を活用し情報提供や相談を継続実施する。	2	健康づくり推進室
保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校の児童に対して、適切な遊び場などを提供するため市内19校で実施し、各校の留守家庭児童会の充実を図っている。 <平成28年5月1日現在の留守家庭児童会の在籍児童数について> 1年生:592人 2年生:511人 3年生:412人 4年生:156人 5年生:31人 6年生:6人 計:1,708人	2	3	3	1	1			H28.10から開設時間の延長を行った。	2	生涯学習課

No	事業
80	<p>事業者や男性労働者に対して、男性の育児・介護休業の取得促進に向け情報提供及び支援を行います。</p> <p>◆男性の育児・介護休業の取得促進に向けた情報提供</p> <p>◆男女共同参画推進事業者等事業助成制度の実施</p>

【今年度の事業の実施度】
1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
(1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった			【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】 (1) (2) (3)			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
		(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)			
和泉市企業人権協議会が実施する事業等で、男性の育児・介護休暇取得促進に対する情報提供を行うとともに、各種リーフレットを商工労働室前に配置することで周知を図った。	2	3	2	1	1			未だに男性の育児休業等に関心が低い企業があることから、理解を深めるための研修を実施する等、様々な手法を用い周知していく。	1	商工労働室

平成28年度については、男性の育児・介護休業の取得促進に向けて制度改正をするにあたり、男女共同参画推進事業者等事業助成制度を利用した事業者の申請は0件だった。 なお、「父親の育児休業制度」「ワーク・ライフ・バランス」等を掲載した啓発冊子を広報いずみ4月号とともに全戸配布した。	3	4	2	1	1	助成制度については、広く周知に努めているが、申請者が1件~0件で、事業者に向けての啓発が推進されていない状況が近年続いている。制度のあり方について、次年度に向けて他の手法の有無を検討する。	3	人権・男女参画室
---	---	---	---	---	---	--	---	----------

No	事業
81	男性が父親としての自覚を持ち、積極的に子育てに関われるよう、知識や技術を習得することを支援します。 ◆男女共同参画社会づくり講座の実施 ◆半日保育参加の呼びかけ

【今年度の事業の実施度】
1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
(1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1. 進んだ 2. やや進んだ 3. 現状維持 4. 進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
			(1)	(2)	(3)			
子育て応援講座 ①タイトル:「パパとデコロウ! 簡単ふんわりパパオムライス」 開催日: 10月22日(土) 午前・午後の2回実施 参加人数: 午前12組、午後6組 合計18組(35人)/24組定員 ②子どもサイエンスキャンパス タイトル:「パパと実験やってみよう! 「虹の万華鏡」光のスペクトルの美しさを楽しもう」 開催日: 10月2日(日) 参加人数: 6組(15人)/15組定員 (再掲Ⅲ-9-24-77)	1	3	1	1	1	引き続き、父親が積極的に子育てに参画できるよう講座を実施する。	2	人権・男女参画室
・半日保育参加への呼びかけを実施した。半日保育参加では、半日を保育士となって過ごしてもらうので、保育参加をとおして子育ての楽しさを体験してもらうことができた。 また、送迎時は、父親へも積極的に子どもの様子や子育てについての話をし、子育てを保育園と共有できるようにしている。	1	3	1	1	1	積極的に声をかけた。	2	こども未来室

No	事業
82	男性が、主体的に家族介護の担い手となれるよう、知識や技術を習得することを支援します。 ◆地域出張型在宅医療介護セミナー(H27年度まで 入退院支援家族教室)

【今年度の事業の実施度】
1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
(1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1. 進んだ 2. やや進んだ 3. 現状維持 4. 進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
			(1)	(2)	(3)			
医療や介護が必要な状態になった時、望む場所で最後まで自分らしく暮らし続けるために、元気なうちから準備しておくことについて学び、安心な生活につながる情報を習得する目的に、セミナーを開催した。 開催内容 6/21 14時~15時 「在宅医療に関すること~かかりつけ医師ができること~」 62名参加(女性44名、男性18名) 1/19 14時~15時 「知っ得! かかりつけ医師について」 16名参加(女性10名、男性6名) 2/24 13時~14時 「知っ得! リハビリテーションについて」23名参加(女性19名、男性4名) 3/27 14時~15時 「知っ得! かかりつけ医師について」33名参加(女性10名、男性23名)	2	2	1	1	1	開催数が目標値の30%となり、目標値には届かず。団体からの申込みによる開催であり、啓発の強化が必要である。参加者には今後を考える良い機会となったとの意見があり、介護は女性だけが担うものではなく、男性も女性も介護が必要な状態になった時のことを考える機会として良い機会と考える。	3	高齢介護室

No	事業
83	特定事業主行動計画に基づき推進します。 ◆職員が子育てや介護しやすい勤務環境を整備する

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持				
男性職員も育児休業が取得可能であることやワークライフバランスの確保の必要性を周知し、取得しやすい環境づくりを行いました。子育てをする女性職員が管理職になるにあたり、必要なマネジメント能力等を付与するための研修を実施しました。 育児休業取得対象者 38名 うち取得者 0名(0%)	2	3	1	1	1	育児休業取得時の勤労手当除算期間を見直し、短期の育児休業を取得しやすい制度を整えた。	2	人事課

施策の方向10 自立した暮らしのための支援

施策⑨ ひとり親家庭への支援

No	事業
84	ひとり親家庭が抱える、様々な悩みや問題を解消するための相談体制を充実します。 ◆母子・父子自立支援員による相談業務

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持				
ひとり親家庭の母や父及び離婚を考えている方の悩みや問題を解消するために、電話や来所による相談業務を行った。 離婚後父相談5件(子の学費、生活全般) 離婚前母相談56件(家庭内揉め事40件、児童に関して3件、経済的支援9件、母子施設等の入所4件)離婚後母相談269件(家庭内揉め事14件、就労84件、養育費面会交流2件、児童に関して12件、経済的支援135件、母子施設等の入所4件、生活全般18件)	2	3	1	1	1	(成果)相談者に寄り添いながら必要な場合は関係機関(暮らしサポート、生活福祉、社協、ハローワーク等)につなぐ事ができた。 (課題)特に困窮者に関しては関係機関との連携や切れ目の無い支援体制が必要	2	こども未来室

No	事業
85	ひとり親家庭の経済的基盤を強化し自立できるように、母子家庭自立支援給付金(自立支援教育訓練給付金事業、高等技能訓練促進費事業)の周知を図ります。 ◆ひとり親家庭自立支援給付金事業

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持				
ひとり親家庭の経済的基盤を強化し自立できるように、母子家庭等自立支援給付金(自立支援教育訓練給付金事業、高等職業訓練促進費事業)の周知を図った。 高等職業訓練促進給付金の支給 22名(全て母子) 高等職業訓練修了支援金に支給 11名(全て母子)	2	3	1	1	1	(成果)相談業務において自立支援給付金制度の周知を図れた。	2	こども未来室

No	事業
86	ハローワーク等と連携し、就労支援を行います。 ◆ひとり親家庭等就労支援事業

【今年度の事業の実施度】
1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】
1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
(1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持も進まなかった				
母子父子自立支援員を配置し、職業能力の向上及び求職活動に関する支援を行っている。 プログラム策定事業申込者 40名(全て母子) ケース会議参加 36名 策定事業による就職 26名	2	3	1	1	1	(成果)プログラム策定による就労支援だけでなく関係機関(政策、社協、生活福祉)と連携を取りながら支援を行った。	2	こども未来室

No	事業
87	ひとり親家庭に支給される児童扶養手当や、ひとり親家庭に支援される医療費助成の周知を図ります。 ◆児童扶養手当支給事業、ひとり親家庭医療助成事業

【今年度の事業の実施度】
1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】
1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
(1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持も進まなかった				
ホームページや広報にて周知を行うことができた。 児童扶養手当支給者数: 延べ23,732人 ひとり親家庭医療費助成件数: 延べ51,439件	2	3	2	2	2	広報に力を入れて取り組むことができた。	2	こども未来室

施策⑦ 困難を抱える人々が安心して生活できるための支援

No	事業
88	高齢者や障がいのある人に対する、経済的自立に向けた就労の機会の拡大と雇用の安定について事業所に働きかけます。 ◆シルバー人材センター運営補助事業の実施 ◆福祉的就労に向けた訓練等の機会の提供

【今年度の事業の実施度】
1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】
1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
(1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持も進まなかった				
補助金というかたちで間接的にシルバー人材センターの活動の支援を行った。また老人クラブなどの高齢者が集う集まりで、シルバー人材センターの紹介などを行った。	1	1	2	2	2	引き続き、働きかけを行う必要がある。	2	高齢介護室
就労継続支援(A型・B型)事業所、就労移行支援事業所への通所の支給決定を行った。また、相談内容に応じて、障害者就業・生活支援センターを紹介した。 平成28年度末時点で、就労移行支援43名、就労継続支援A型64名、就労継続支援B型328名が受給中。	2	3	3	1	1	今後も引き続き、法に基づいた支給決定及び支援を行う。	2	障がい福祉課

No	事業
89	高齢者が要介護状態とならないよう、また、介護予防を図るために、自立した生活を確保するための生活支援サービスの充実を図ります。 ◆介護予防普及啓発事業

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映し出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
<p>体操の周知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町会、民生児童委員、老人クラブ、社会福祉協議会校区ボランティアなどへ、場の立ち上げについて説明。 ・「おためいいきいきみ体操」として単発の教室を4回実施。 ・すでに活動している団体には、専門職による助言を実施。 ・活動団体数:28箇所 参加人数【実】 女性:592名 男性:111名(各団体1回/週実施) 	1	3	1 1 1	男性にも参加しやすい教室づくりを心がけているが、女性の参加率が高い。	2	高齢介護室

No	事業
90	支援を必要としている人々が適切に福祉サービス等を利用し、地域での生活が継続できるよう、情報提供や相談等の支援を進めます。 ◆和泉市高齢者福祉サービス ◆成年後見審判市長申立事業 ◆基幹相談支援センター事業の実施 ◆成年後見審判申立事業の実施 ◆日常生活自立支援事業の情報提供 ◆和泉市地域福祉総合相談員配置促進事業 ◆生活困窮者自立支援

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映し出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
<p>緊急通報装置の貸与、紙おむつの給付、訪問理美容サービス、介護予防住まい改修、認知症高齢者安全確保事業、認知症高齢者家族やすらぎ支援事業を実施している。在宅を望む高齢者が安心して暮らせるように地域包括支援センターやその他の関係機関と連携し、情報提供している。高齢者一人ひとりにあった適切なサービスの提供に努めている。(平成28年度実績、緊急通報装置貸与973名、紙おむつ助成人数1,192名、理美容人数41名)</p>	2	3	2 2 2	高齢者福祉サービスや介護保険の内容を広報やホームページ、パンフレット及び出前講座などを通じ情報提供や相談等を行い、安心して在宅で生活できるよう支援する。	2	高齢介護室
<p>65歳以上の一人暮らしまたは高齢者世帯で調理が困難な方に対して月～金の夕食を週5回まで1食450円で配達し、安否確認をおこなっている。食事制限にも対応している。(平成28年度配食人数173名)</p>	2	3	2 2 2	民間での配食サービスも増えてきているため、対象者一人一人にあった配食業者選びも必要である。在宅での生活が継続できるように他のサービスも検討し、対象者にあった支援を行う。男女の生涯にわたる健康な生活への配慮を考えながらサービスを進めていく。	2	高齢介護室
<p>利用者が地域で自立した生活を継続していくために、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理等の財産管理、法律行為の援助が必要な場合、市長が本人、配偶者、四親等内の親族に代わって家庭裁判所に成年後見審判の申立を行う。</p> <p>申立件数:2件</p>	1	3	3 1 1	支援を必要としている人々が適切に福祉サービス等を利用し、地域での生活が継続できるよう、支援を進めた。28年度は女性のみであるが、男性、女性ともに利用しやすいように事業を継続していく。	2	高齢介護室

<p>基幹相談支援センター事業及び相談支援事業等の実施により地域の相談支援体制を推進するとともに、事業所間のネットワーク構築や質の向上に取り組んだ。</p> <p>基幹相談支援センター及び委託相談支援事業所3ヶ所の合計年間相談件数は9,124件(延べ)、支援の内容については、福祉サービスの利用等に関する支援が4,711件(延べ)、不安の解消・情緒の安定に関する支援が1,230件(延べ)、健康・医療に関する支援が781件(延べ)等となっている。</p> <p>また、相談方法は、電話相談が2,529件、関係機関との調整が1,783件、訪問が554件である。</p>	2	3	3	1	1	<p>今後も基幹相談支援センター及び相談支援事業所の知名度を高めるとともに、事業所の質の向上等にも取り組み、障がいがあっても長く地域で生活ができるよう、支援をする。</p>	2	障がい福祉課
<p>成年後見審判の申し立て(平成28年度申し立て件数:2件)を行い、障がいの権利擁護を図った。</p>	2	3	3	1	1	<p>今後も引き続き、成年後見制度の必要な人に成年後見審判の申し立てにかかる支援を行う。</p>	2	障がい福祉課
<p>日常生活自立支援事業は、判断能力が不十分な方に対して、日常生活費の管理を行うことで日常生活上の消費契約や福祉サービスの利用援助、行政手続きに関する援助を行う事業であり、本事業について、市、基幹相談支援センター及び相談支援事業所等から情報提供を行い、支援ができるようつないだ。</p>	2	3	3	1	1	<p>今後も引き続き、社会福祉協議会へのつなぎを行う。</p>	2	障がい福祉課
<p>市内8か所に計13名の相談員を配置し、年齢、障がいの有無に関わらず相談対応を行った。</p> <p>相談者数 741名【男:313名 女:416名 不明:12名】(平成29年3月末)</p> <p>相談者の性別について、相談受付の際に相談者の基礎情報として確認している。(再掲Ⅱ-8-23-72)</p>	2	1	2	2	2	<p>事業の認知度を高めるため、チラシの全戸配布を行った。</p>	2	福祉総務課
<p>生活困窮者が経済的及び社会的困窮状態から早期に脱却することを実現するため、自立支援計画を策定し、本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援を実施した。</p> <p>相談件数:337件(男175件、女144件、未確認18件)</p> <p>自立支援計画策定件数:67件</p> <p>達成件数:30件</p>	2	2	1	1	1	<p>今後も継続して支援の充実を図る。平成29年度からは、市内8ヶ所に相談支援事業拠点を拡充し、生活困窮者に相談支援を行っていくとともに、ファイナンシャルプランナーによる家計相談の支援を行っていく。</p>	1	福祉総務課

施策の方向11 生涯を通じた心身の健康づくりの支援

施策② 生涯を通じた心身の健康保持・増進

No	事業
91	<p>リプロダクティブ・ヘルス/ライツの考え方に基づいて健康・保健施策が進められるよう、啓発や情報提供を行います。</p> <p>◆両親教室(妊婦教室)</p> <p>◆男女共同参画社会づくり講座の実施</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度事業実施度	【施策の進捗度】			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持/進まなかった			
<p>保健師、助産師より妊娠・出産・育児に関する情報提供を行う。またグループワークや先輩ママとの交流の場をもち、経験談や情報を聴く場をつくった。</p> <p>受講者数 延328人(夫受講者 延46人)</p>	2	3	1	1	<p>妊娠中から出産、育児について考える機会をもち、親の準備性を高め、母子の健全育成を図るため継続実施していく。</p>	2	健康づくり推進室
<p>女性のための運動講座～自分を大切にするためのセルフケア～ 全2回 開催日:①3月3日(金)「コリ取りストレッチ」②3月17日(金)「貯筋体操で冷え予防・改善」 定員:各15人(2回とも参加できる方を優先) 参加人数 ①14人(女性14人 男性0人) ②15人(女性15人 男性0人)</p>	1	3	1	1	<p>引き続き、生涯を通じた女性の健康保持に関する講座を実施する。</p>	2	人権・男女参画室

No	事業
92	<p>リプロダクティブ・ヘルス/ライツの考え方に基づいた健康保持に関する学習機会を提供します。</p> <p>◆両親教室(妊婦教室)</p> <p>◆男女共同参画社会づくり講座の実施</p> <p>◆健康教育におけるリプロダクティブ・ヘルス/ライツの考え方の普及</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課	
		1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持				4. 進まなかった
<p>保健師、助産師より妊娠・出産・育児に関する情報提供を行う。またグループワークや先輩ママとの交流の場をもち、経験談や情報を聴く場をつくった。</p> <p>受講者数 延328人(夫受講者 延46人)(再掲Ⅲ-11-28-91)</p>	2	3	1	1	1	参加者の雰囲気に合わせて、和やかな雰囲気になるように実施する。質問などしやすい雰囲気作りにつとめ、正しい情報提供を行う。今後も母子の健全育成を図るため、継続し実施していく。	2	健康づくり推進室
<p>女性のための運動講座～自分を大切にするためのセルフ케어～ 全2回 開催日:①3月3日(金)「コリ取りストレッチ」②3月17日(金)「コミュニケーションを楽しみましょう」 定員:各15人(2回とも参加できる方を優先) 参加人数 ①14人(女性14人 男性0人) ②15人(女性15人 男性0人) (再掲Ⅲ-11-28-91)</p>	1	3	1	1	1	引き続き、生涯を通じた女性の健康保持に関する講座を実施する。	2	人権・男女参画室
<p>学習指導要領に基づき、児童生徒の発達段階に応じ、保健や総合的な学習の時間等でリプロダクティブヘルス/ライツの考え方に基づいた健康保持に関する学習機会を提供するよう指示した。</p>	1	3	1	2	2	リプロダクティブヘルス/ライツの考え方について、教職員への研修を進めていく。	2	教育委員会指導室

No	事業
93	<p>年代に応じた健康管理を支援するため、健康相談や健康診査・検診等の充実を図ります。</p> <p>◆各種検診(健診)、健康教育・相談事業</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課	
		1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持				4. 進まなかった
<p>各種健康診査及びがん検診、胃がんリスク検査、歯周疾患検診等の実施。また、受診率向上を目指し乳がん検診の無料化や胃がんリスク検査費用の補助、無料クーポン券や受診券の発行、対象者及び未受診者の対して個別勧奨通知を実施した。</p> <p>健康教育・相談事業については、市民が生活の中で健康づくりを実践できるよう、生活習慣病予防のための教育や保健指導を実施した。</p> <p>乳がん検診 対象者数 19,158人 受診者数 4,779人 子宮がん検診 対象者数 22,951人 受診者数 6,689人</p>	2	3	1	1	1	乳がん検診及び子宮がん検診の受診率において目標を達成することができなかった。今後も各種検診の充実を図るとともに、対象者へ効果的な方法で個別勧奨通知や媒体の配付等を実施し、受診率向上をめざす。また、地域に出向いた健康教育や普及啓発を継続し、関心の低い人へも幅広く働きかけられるよう努めていく。	2	健康づくり推進室

No	事業
94	学校と連携し、健康をおびやかす問題についての対策を推進します。 ◆「薬物乱用防止教室」の実施 ◆各校で学校保健委員会の開催

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】				成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持	4.進まなかった			
<p>・各学校において、薬剤師会や警察等と連携し、「薬物乱用防止教室」を開催した。うち、薬剤師会による実施は、青葉はつが野小学校 5年 198人 6月15日(水)、黒鳥小学校 5・6年 129人 6月17日(金)、光明台南小学校 5・6年 176人 7月8日(金)、南松尾小学校 5年 19人 7月13日(水)、信太小学校 6年 86人 9月7日(水)、横山小学校 5・6年 52人 9月9日(金)、伯太小学校 6年 67人 9月21日(水)、池上小学校 5年 46人 10月4日(火)、信太中学校 2年 214人 10月5日(水)、和気小学校 6年 127人 10月12日(水)、緑ヶ丘小学校 6年 144人 10月26日(水)、北池田中学校 2年 275人 11月2日(水)、国府小学校 6年 190人 11月16日(水)、石尾中学校 2年 253人 11月25日(金)、鶴山台南小学校 6年 40人 11月25日(金)、南池田小学校 6年 81人 12月7日(水)、芦部小学校 5年 114人 12月8日(木)、鶴山台北小学校 6年59人 12月14日(水)、郷荘中学校 1年215人 1月11日(水)、南横山小学校 5・6年25人 1月13日(金)、光明台北小学校 6年125人 1月17日(火)、北松尾小学校 6年144人 1月25日(水)</p> <p>合計 22校(回) 2,779人</p> <p>・残りの9校については、警察、保護司、養護教諭等による「薬物乱用防止教室」を実施した。</p>	1	3	3	1	1	今後も学校保健計画に位置づけ、小中学校・学園児童生徒に対し、計画的に実施する。	2	教育委員会指導室
<p>各校で年に一回以上学校保健委員会を開催した。生涯を通じた心身の健康保持・増進につながるよう各学校でテーマを設定して開催した。</p>	1	3	3	1	1	各学校の課題に沿った内容で実技や講演会を実施している。また保護者に多く参加してもらうために日時や内容等を考慮し、広く周知している。	2	教育委員会指導室

No	事業
95	性差に留意し、自殺予防のための相談支援や心の健康保持増進に努めます。 ◆自殺予防対策事業

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】				成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持	4.進まなかった			
<p>・市内ネットワークづくりや市職員の自殺予防の意識向上を目的に、和泉市自殺予防対策連絡会議を3回実施。また、職員研修の実施(ゲートキーパー研修1回23人、メンタルヘルス研修4回262人の参加があった。)</p> <p>・9月、3月の自殺予防週間・月間での街頭キャンペーンやポスター掲示、広報などで啓発。</p> <p>・「こころの体温計」を活用した普及啓発。</p> <p>・7月以降毎月相談事業を実施し、23名の相談を受ける。</p> <p>・こころの健康から睡眠をテーマに講座を実施し、27名が参加。</p>	2	3	1	1	1	ゲートキーパー研修等は、年齢性別問わず多くの対象に実施できた。今後も自殺予防のため相談支援や研修を継続していく。	2	健康づくり推進室

No	事業
96	<p>妊娠、出産期における健康保持のための支援をします。</p> <p>◆両親教室(妊婦教室)</p> <p>◆妊婦健康診査</p> <p>◆母子健康相談事業</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.紹介 5.廃止	担当課
			(1)	(2)	(3)			
保健師、助産師より妊娠・出産・育児に関する情報提供を行う。またグループワークや先輩ママとの交流の場をもち、経験談や情報を聴く場をつくった。 受講者数 延328人(夫受講者 延46人) (再掲Ⅲ-11-28-91)	2	3	1	1	1	安心、安全な妊娠・出産・子育て期を過ごせるよう、支援を継続する。	2	健康づくり推進室
健全な妊娠・出産を迎える上で、妊婦の経済的負担を軽減するために、妊娠届時に「妊婦健康診査受診券」を発行し、1人当たり合計120,000円の公費負担を行った。	1	3	1	1	1	平成28年4月1日より公費負担額を増額(合計120,000円)し、妊婦の経済的負担軽減を推進した。	1	健康づくり推進室
安心・安全な妊娠・出産・子育て期を過ごせるよう、面接・電話・訪問による相談・支援を行った。 母子保健指導 平成28年度 11,776人	2	3	1	1	1	安心・安全な妊娠・出産・子育て期を過ごせるよう、今後も支援を継続する。	2	健康づくり推進室

No	事業
97	<p>HIV／エイズや性感染症については、大阪府と連携し偏見を取り除き、正しい知識の普及や感染予防に努めます。</p> <p>◆HIV／エイズ等のポスター掲示等による普及活動</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.紹介 5.廃止	担当課
			(1)	(2)	(3)			
HIV予防週間は、ポスターを掲示し普及啓発を行った。	2	3	1	1	1	引く続き大阪府と連携し正しい知識の普及に努める。	2	健康づくり推進室

No	事業
98	<p>個人のプライバシーに配慮した女性のための健康に関する相談窓口を充実します。</p> <p>◆健康相談事業</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.紹介 5.廃止	担当課
			(1)	(2)	(3)			
骨密度検診、特定健診結果説明会で面接を実施。 機能訓練教室やヘルシー運動教室にて、面接を実施。 電話や来所での相談に対し、健康相談を実施。 健康相談 平成28年度 801人	2	3	1	1	1	健(検)診や教室の対象者に相談を実施できた。引き続き実施していく。	2	健康づくり推進室

基本目標Ⅳ 人権が尊重される環境をつくる 施策の方向 12 あらゆる暴力の根絶

施策② 暴力を容認しない社会風土の醸成

No	事業
99	「女性に対する暴力をなくす運動」を展開し、暴力を容認しない社会風土を醸成するための啓発や講演会等を行います。 ◆キャンペーンの実施 ◆男女共同参画社会づくり講座の実施

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課		
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持					(1)	(2)
・女性に対する暴力をなくす運動期間等を記載した啓発用マグネットシートを作成し、公用車に貼り付け啓発を行った。 ・広報いずみ平成28年11月号及び、モアいずみ通信160号(平成28年10月発行)にて、女性に対する暴力をなくす運動期間について啓発を行った。 ・パープルリボンを作成し、市長をはじめ、職員に配布し、全庁的に女性に対する暴力をなくす運動啓発を行った。また、正面玄関受付及びモアいずみ窓口にて、パープルリボンの由来及び運動期間の啓発とともに、市民配布用パープルリボンの設置を行った。	1	1			1	1	1	今後も女性に対する暴力をなくす運動について周知を図り、暴力を許さない社会風土の醸成を行う。	2	人権・男女参画室
運動期間に桃山学院大学法学部と共催し、デートDVを啓発するため、講演会を大学生・市民対象に実施し、特に大学生が参加しやすい大学構内で実施した。 タイトル: デートDV 好きって気持ちでごまかしてない? 縛られてない? 開催日: 平成28年11月18日(金) 参加人数: 129人/200人定員	1	1			1	1	1	今年度においては、桃山学院大学の学生に対しデートDVについて講演を行い啓発を行った。今後においても、若い世代に対し啓発をおこなっていく。	2	人権・男女参画室

No	事業
100	「男女共同参画週間」・「人権週間」等を通じて、広く意識啓発のための活動を行います。 ◆男女共同参画週間事業の実施 ◆「いのち・愛・人権」市民の集い、人権啓発講座、他

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課		
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持					(1)	(2)
①広く市民に男女共同参画に対する理解を深め、その取り組みの輪を広げるために男女共同参画週間啓発事業として、ミニフォーラムを実施。 (平成28年度男女共同参画週間事業) 開催日: 6月11日(土)14:00~16:00 内容: 映画「ぼくたちの家族」 参加人数: 508人/650人定員 ②平成28年6月号広報いずみに男女共同参画週間事業を掲載。また、啓発用マグネットシートを公用車に貼り付け、市民に向けて啓発を行い、市民配布用パープルリボンの設置を行った。	1	3			1	1	1	今後も、広報いずみやいずみメール、チラシ、男女共同参画センターの機関誌などを活用し、市民への周知を図り、参加を呼び掛け目標値をめざす。広報いずみに掲載することで、男女共同参画週間事業については、広く市民に周知できたと考える。	2	人権・男女参画室
「いのち・愛・人権」市民の集い参加者にリーフレットを配布し、女性の人権などの人権課題について啓発を行った。	3	3			3	1	1		2	人権・男女参画室

No	事業
101	<p>子ども・若者・成人と、年齢に応じて暴力によらない解決方法を身につけるための学習機会を提供します。</p> <p>◆男女共同参画社会づくり講座の実施 ◆暴力によらない解決ブックレットの活用 ◆スクールカウンセラーの効果的な活用による生徒指導 ◆保育所や幼稚園での集会や日常の保育、教育の場で保育(教育)計画に基づいた指導</p>

【今年度の事業の実施度】
1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1. している 2. 部分的にしている 3. していない 評価
(1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持	4.進まなかった	(1)	(2)			
<p>運動期間に桃山学院大学法学部と共催し、デートDVを啓発するため、講演会を大学生・市民対象に実施し、特に大学生が参加しやすい大学構内で実施した。</p> <p>タイトル:デートDV 好きって気持ちでごまかしてない?縛られてない?</p> <p>開催日:平成28年11月18日(金)</p> <p>参加人数:129人/200人定員 (IV-12-29-99再掲)</p>	1	1			1	1	1	今年度においては、桃山学院大学の学生に対しデートDVについて講演を行い啓発を行った。今後においても、若い世代に対し啓発をおこなっていく。	2	人権・男女参画室
<p>暴力によらない解決ブックレットを活用し、問題解決力育成ワークにある、子どもと良い関係を作るワークや心を落ち着かせるワーク、表現力を育てるワークを実施するように指示した。これらに取り組むことで、子ども自身が自己の思いや考えを表現する喜びや嬉しさを知り、さらにその気持ちを相手に伝えることができるまでの行動過程を体感することで子ども自身がエンパワメントされ自己肯定感の確立につながった。</p>	1	2			1	1	1	今後もアンガーマネジメントなどの暴力によらない解決方法の学習の機会を充実する。	2	教育委員会指導室
<p>スクールカウンセラーの効果的な活用を指示し取り組んだ。スクールカウンセラーは、14小学校に配置し、中学校は全10校に配置している。小学校での相談件数は、1,314件、相談人数2,343人。中学校での相談人数は2,795人であった。また、延べ22回(中学校14回、小学校8回)において、SCが講師となり、子ども理解や暴力によらない解決方法の育成についての教職員研修を行った。</p>	1	2	3		1		1	スクールカウンセラー連絡会を実施し、さらなる相談体制の充実を図った。	2	教育委員会指導室
<p>・保育の中で、子どもたちのけんかの場面などをとらえ、人を傷つけることは良くないことであること、どのようにすれば良かったかということ、子ども自身が気づいていけるようにした。</p> <p>・各年齢の中で、一人一人の子どもを大切にす保育を年間を通して実施した。</p>	2	3			1	1	1	場面場面で、人権の視点をしっかりともち取り組みを進める。	2	こども未来室

施策⑨ 性犯罪等の防止対策及び暴力に対応する相談窓口や支援機関の周知

No	事業
102	<p>様々な媒体を活用して、それぞれの暴力に適應した相談窓口について広く周知します。</p> <p>◆暴力等DVの相談業務 ◆高齢者権利擁護推進事業 ◆相談窓口の周知</p>

【今年度の事業の実施度】
1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1. している 2. 部分的にしている 3. していない 評価
(1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持	4.進まなかった	(1)	(2)			
<p>暴力等DVについては、母子・父子自立支援員による相談を行っている。DV相談32件</p>	2	3			1	1	1	(成果)被害者に寄り添いながら関係機関(政策、生活福祉、女性相談センター、母子生活支援施設)と連携をとり支援を行った。	2	こども未来室

<p>高齢者虐待防止について、専門職や市民に対して普及啓発や研修等を行い、予防対策、早期発見、早期対応及び再発防止を行う。研修、チラシの作成。</p> <p>開催研修:「高齢者権利擁護研修」平成29年3月3日 14時～16時 高齢者の人権や虐待について理解を深めるとともに、安心して生活できるまちづくりに向けて共に考える研修会。 参加人数:計29名(内訳:女性21名、男性8名)</p>	2	3	1	1	1	<p>虐待者の割合は、男性からが多く、被虐待者が外部に発信することや、専門職、近隣住民が気づき、相談窓口につながるようなことが出来るように暴力等に適応した相談窓口について周知・啓発を実施。従来のチラシから更新したため、新しいチラシの周知・啓発を積極的に行う必要あり。</p>	2	高齢介護室
<p>・広報いずみ、モアイずみ通信に相談窓口を掲載する。 ・リーフレットを公共施設の女子トイレに設置、補充管理。(和泉市立病院、人権文化センター、北部及び南部リージョンセンター等) ・連携する関係各課(室)の相談窓口リーフレットを設置、補充管理。</p>	1	3	1	1	2	<p>場所によっては、補充頻度が多いところがあるので、補充管理をしっかり行う。引き続き、相談窓口や支援機関の周知に努める。</p>	2	人権・男女参画室

No	事業
103	<p>ウーマンライン、性暴力救援センター・大阪(SACHICO)等の性犯罪専門の相談窓口を周知します。 ◆相談窓口の周知</p>

【今年度の事業の実施度】
1.男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4.実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
(1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
<p>・リーフレットを公共施設の女子トイレに設置、補充管理。(和泉市立病院、人権文化センター、北部及び南部リージョンセンター、コミュニティセンター、シティプラザ等) ・連携する関係各課(室)の相談窓口リーフレットを設置、補充管理。</p>	1	3	1	1	2	<p>引き続き、相談窓口や支援機関の周知に努める。</p>	2	人権・男女参画室

No	事業
104	<p>性犯罪等女性や子どもへの暴力防止のため、関係団体と連携を図り犯罪防止の啓発活動、地域の安全情報の提供を推進します。 ◆地域防犯対策事業</p>

【今年度の事業の実施度】
1.男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4.実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
(1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.現状維持				
<p>・ひたたくり防止カバー取付けキャンペーン、女性を対象とした防犯ブザーの配布活動を実施した。 ・青色防犯バトロールカーを使用して、通勤・通学路の見守り活動を実施した。 ・和泉総合防犯センター(ICPC)と連携して、不審者情報等のメール発信を実施した。</p>	1	1	1	1	1	<p>防犯ボランティア団体と連携して、積極的に犯罪被害防止活動に取り組んだ結果、犯罪発生件数を減少させることができた。今後も、犯罪発生実態に即した犯罪被害の防止活動を推進する。</p>	2	公民協働推進室

No	事業
105	セクシュアル・ハラスメント、性犯罪やストーカー行為等、女性に対する暴力防止のため、学校を含む関係機関・関係団体との連携を基に、女性の権利侵害に関する市民の意識の向上と安全・安心のまちづくりの重要性を啓発します。 ◆地域防犯対策事業 ◆スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用、関係機関との連携 ◆特別相談の実施

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施に当たり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
			(1)	(2)	(3)			
・ひったくり防止カバー取り付けキャンペーンの実施 14回 ・痴漢等の性犯罪被害の防止を目的とした防犯ブザーの無料配布を実施2回 ・犯罪多発地区に80台の防犯カメラの設置した。	1	2	1	1	1	性犯罪の発生件数は減少したことから、引き続き、女性・子どもに的を絞った啓発活動に取り組む。また、防犯カメラの増設を積極的に推進して、ハード面からも犯罪の防止に努めていく。	2	公民協働推進室
具体的な被害状況を例示して、すぐに実践できる防犯対策を紹介するとともに、和泉警察署の協力を得て、護身術教室を開催した。	2	2	1	1	1	参加者の年代や職業等によって内容を変えていき、より効果的な防犯教室の開催に努める。	2	公民協働推進室
和泉市配偶者からの暴力対策連絡会議への参加を行い、関係各課や関係機関と連携するとともに、スクールカウンセラー、SSWの効果的な活用及び子ども未来室や子ども家庭センターと連携し重要性を啓発した。スクールカウンセラーは、14小学校に配置し、中学校は全10校に配置した。小学校での相談件数は、1,314件、相談人数2,343人。中学校での相談人数は2,795人であった。スクールソーシャルワーカーは、3名で、要請のあった件について、相談に応じ、支援を行った。	1	2	3	1	1	さらにSCやSSWの相談体制を充実し、関係機関との連携を図る。	1	教育委員会指導室
女性に対する暴力をなくす運動啓発事業 【特別相談】 (電話相談) 実施日：①11月30日(水)午前・午後 ②9月29日(木)夜間 ①午前1人・午後1人 ②夜間1人 (法律相談・カウンセリング) 実施日：11月12日(土)午後1時～4時 法律相談 4人 カウンセリング 1人	1	3	1	1	1	女性に対する暴力をなくす運動を啓発するとともに、引き続き、特別相談の実施に取り組む。	2	人権・男女参画室

施策⑩ セクシュアル・ハラスメント等防止対策の推進

No	事業
106	セクシュアル・ハラスメント等の相談窓口の周知を図ります。 ◆労働相談の周知 ◆女性の相談窓口の周知 ◆セクハラ防止対策相談窓口の周知

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施に当たり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
			(1)	(2)	(3)			
広報いずみやホームページ等を用い周知を図るとともに、相談業務を実施するなかで、セクシュアル・ハラスメント等の問題を抱えるものに対し、労働相談を案内した。 平成28年度 労働相談者数実績 毎月第1日曜日 男性4人 女性8人 毎月第2金曜日 男性6人 女性8人 合計 26人	2	3	1	1	1	今後も様々な媒体を活用し、労働相談の周知を図っていく。	2	商工労働室

<p>・職場におけるセクシャル・ハラスメント相談窓口を掲載した「女性の相談窓口」リーフレットを公共施設の女子トイレに設置、補充管理</p> <p>・平成29年1月号広報にて全戸配布(73,000部)を行った男女共同参画啓発カレンダーにセクシャル・ハラスメント相談窓口を掲載し、相談窓口の周知を図った。</p>	1	3	1	1	2	引き続き、相談窓口の周知に努める。	2	人権・男女参画室
<p>大阪労働局の「セクシャルハラスメントによる労災請求の相談窓口」の周知など、職員への情報提供を行うとともに、常に参照できるように市グループウェアに掲載した。</p>	2	2	1	1	1	相談窓口の周知、市グループウェアに掲載を行ったことで、職員に対して十分な周知を図ることができた。	2	人事課

No	事業
107	<p>事業主に対して、セクシャル・ハラスメント等を防止するために講じなければならない措置を周知します。</p> <p>◆和泉市企業人権協議会等を通じた周知</p> <p>◆セクシャル・ハラスメント等を防止するための情報提供</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
 - (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
 - (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
 - (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持	1. (1)	2. (2)	3. (3)			
<p>和泉市企業人権協議会が実施する事業等で、セクシャル・ハラスメント等を防止するための周知を図るとともに、就労支援相談を実施するなかでセクシャル・ハラスメント等の問題を抱える者に対し、本市が実施する労働相談や大阪府総合労働事務所などの関係機関を案内した。</p>	2	3	2	1	1	セクシャル・ハラスメント等の防止を周知するとともに、問題を抱える人がどこに相談すればよいかについても周知していく。	1	商工労働室		
<p>セクシャル・ハラスメント等を防止するため、商工労働室と双方から情報を発信した。</p> <p>厚生労働省等から送付されるハラスメントに関する冊子等については、人権・男女参画室やモアいずみ(和泉市男女共同参画センター)のラックに配置し、情報提供を行った。</p>	1	3	2	1	1	引き続き、セクシャル・ハラスメント等防止や、相談窓口についての情報提供を行う。	2	人権・男女参画室		

No	事業
108	<p>市職員や教員に対し、事案をなくすために研修等を実施します。また、市役所や学校におけるセクシャル・ハラスメント等に対応するための体制を充実します。</p> <p>◆各校にセクシャル・ハラスメント対策担当者を設置 ◆セクハラ防止研修</p> <p>◆研修等への参加促進 ◆職員研修への参加促進</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
 - (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
 - (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
 - (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 現状維持	1. (1)	2. (2)	3. (3)			
<p>各校において、複数名の担当者を置き、1名は必ず女性が担当している。</p> <p>平成28年度の相談件数は、0件だった。</p>	1	1	1	1	1	今後も複数の担当者を置き、1名は女性が担当するように指示する。	2	教育委員会指導室		

<p>セクハラへの正確な理解やモラル観を持ち、快適な職場環境の形成を図るため、啓発を実施した。</p> <p>実施日:平成29年1月17日(火) 研修内容:ハラスメント防止研修 参加人数:58名【内訳】男性:42名 女性16名</p>	2	2	1	1	1	課内マネジメントを行う係長級以上の職員を対象に1~2名の参加者を募集し、実施したことにより、施策の推進に寄与した。	2	人事課
<p>部内会議並びに課内会議等で議題とし、職員への注意喚起を促した。</p>	1	1	1	1	1	平成27年度のアンケート調査結果を踏まえ、平成28年度には注意喚起を促すことで、職員一人ひとりの意識も高まった。	2	消防総務課
<p>①29年1月17日開催のハラスメント防止研修に職員が参加し、研修内容を後日所属職員へ周知を行った。 ②泉北・泉北7市合同の女性職員研修に参加し、仕事の「質」と「効率」を高め、自分と周りを生かす仕事を実現するために必須の「仕事力」を身に着ける方法について学んだ。</p>	2	3	3	1	1	セクハラへの正しい知識を習得し、また判断の難しいケースについての判断基準とその対処方法などについて学び、知識を深めることができた。	2	上下水道部 経営総務課

施策の方向 13 安心して相談できる相談体制の充実

施策⑫ 相談・支援体制の充実

No	事業
109	<p>庁内の関係担当課及び関係機関が連携し、相談内容によつて的確な窓口を紹介できるようにします。</p> <p>◆関係担当課や関係機関との情報共有 ◆生活保護等事業 ◆高齢者権利擁護推進事業 ◆基幹相談支援センター事業及び委託相談支援事業の実施 ◆市民相談事業 ◆いずみ子育てなんでも相談センター ◆教育センター相談事業 ◆青少年相談業務 ◆和泉市配偶者等からの暴力対策連絡会議 ◆人権相談 ◆総合生活相談事業</p>

【今年度の事業の実施度】
 1.男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
 3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
 4.実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
 1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
 (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
 (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
 (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
			(1)	(2)	(3)			
<p>迅速かつ的確に担当窓口を紹介できるよう、関係課や関係機関がどのような業務を担当しているかを確認し、的確に紹介することが出来た。</p>	2	3	2	2	2	関係課や関係機関と更なる情報共有を行い、より迅速かつ丁寧な対応をしていく。	1	商工労働室
<p>庁内の関係担当課及び庁外の関係機関が連携し、相談内容によつて的確な窓口を紹介することができた。生活保護等の相談については男女共同参画の視点や生活困窮者の人権を尊重し社会保障制度の充実につながる相談を行うことができた。生活福祉課での面接相談件数は最近では、平成25年度が539件、平成26年度が851件、平成27年度が698件、平成28年度が794件となっている。</p>	1	1	1	1	1	福祉総務課をはじめとする庁内の関係担当課及び関係機関との連携が重要となる。	2	生活福祉課
<p>高齢者虐待に関して、早期対応及び再発防止対策として関係公的機関、民間団体との連携の促進を図る。 高齢者虐待防止実務者会議の開催(平成28年8月30日開催):各関係機関の虐待対応に関する役割や緊急性の判断の基準を明確にする。各関係機関の役割の明確化について検討。</p>	1	3	1	1	1	機関によって、対応に差があり継続的な情報交換の場が必要である。虐待者は男性が多く、現状を把握したうえで、対応策について検討が必要である。	2	高齢介護室

<p>基幹相談支援センター及び相談支援事業所等で専門の相談員が障がいのある方やその家族等からの相談に応じ、必要な支援を行った。また、就労支援ワーキングや相談支援事業所連絡会等において、事業所間のネットワーク構築や質の向上に取り組んだ。</p>	2	3	3	1	1	<p>引き続き、基幹相談支援センター及び相談支援事業所等が、関係機関との連携をスムーズに行えるよう、ケースを通じて協力しあえる関係をめざす。</p>	2	障がい福祉課
<p>市民からの相談を受け、相談内容に応じ必要となる部署(制度)につながるよう助言や紹介等を行ったとともに、生活困窮者においては、経済的及び社会的困窮状態から早期に脱却することを実現するため、住宅確保給付金事業で5件、一時生活支援事業で10件、就労準備支援事業で4件、就労訓練事業で2件、自立相談支援事業による就労支援を45名に実施し、本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援を実施した。</p>	2	3	3	1	1	<p>成果として、生活困窮者自立支援と一体的に実施することにより、総合相談窓口としての機能を効果的に実行することができた。</p>	2	福祉総務課
<p>いずみ子育てなんでも相談センターに家庭児童相談員(4人:男1人、女3人)を配置し、乳幼児から18歳までの子育てや家庭内の問題(育児や学校に関する悩み、児童虐待等)について相談に応じた。相談内容によって、的確な窓口を紹介した。 平成28年度 相談件数合計964件</p>	2	3	3	1	1	<p>今年度は、例年と比較しかなり相談件数が増えました。(964件) 今後もこれまで同様に、相談業務に取り組んでいきます。</p>	2	こども未来室
<p>各小中学校に市および府などの相談窓口を周知した。 ・長期休業の前に休み中の過ごし方についてのプリント(相談窓口の一覧を掲載)を配付した。 ・大阪府教育委員会や教育センターの相談窓口(すこやかホットライン・チャイルドラインなど)の紹介用のプリントやカードを配付</p>	2	2	3	2	2	<p>引き続き相談窓口の周知に努め、的確な窓口を紹介できるようにしていきたい。</p>	2	教育委員会指導室
<p>青少年の健全な育成と自立支援につなげる相談、また、ニートやひきこもりなど、青少年問題に関する様々な相談全般を受け、その内容に沿った専門的な機関を紹介する。 相談方法：直接または電話による 対応時間：月～土曜日 午前9時～午後5時15分 ※日曜、祝日及び年末年始を除く 平成28年度相談件数 0件</p>	2	3	1	1	1	<p>専門職員の配置がないため、青少年センターは専門機関を紹介する機関となり、青少年による相談件数は少ない状態です。今後も「広報いずみ」の相談案内欄の掲載を引き続き実施し、青少年の多方面に渡る問題解決を行う専門機関を紹介していく。</p>	2	青少年センター
<p>「和泉市配偶者等からの暴力対策連絡会議」を通して、関係担当課及び関係機関との連携の強化を図った。 平成28年度和泉市配偶者等からの暴力対策連絡会議 平成29年2月15日開催 (内容) ①和泉市等の現状について ②和泉市関係各課のDV被害者支援の現状について ③個人情報漏洩防止に関するマニュアルについて ④大阪府のDV被害者支援の取組について</p>	1	1	1	1	1	<p>引き続き、関係担当課及び関係機関との連携を強化し、DV防止基本計画に基づき、DV被害者支援を行う。</p>	2	人権・男女参画室
<p>人権擁護委員による人権相談を20回実施。 (毎月第1、3月曜日の午後1時30分～午後3時30分) 特設相談を3回実施(憲法週間・人権擁護委員の日・人権週間) 内容に応じ、庁内関係課や(公財)大阪府国際交流財団などの関係機関を紹介した。</p>	2	3	3	1	1	<p>相談窓口の周知を図り、実施する。</p>	2	人権・男女参画室
<p>人権、進路選択、労働、生活等に関するさまざまな相談を受け、相談内容によって関係各課・関係機関と連携し、課題解決に向けて取り組んだ。平成28年度の相談実績は65件述べ110件となっている。</p>	1	3	1	1	1	<p>相談窓口の周知を図り、実施する。</p>	2	人権・男女参画室

No	事業
110	<p>在住外国人のための、仕事や生活等に関する相談窓口の整備や外国語による支援体制を充実します。</p> <p>◆外国人への相談事業 ◆総合生活相談事業 ◆女性問題総合相談事業の実施</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1. 進んだ 2. やや進んだ 3. 現状維持 4. 進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
			(1)	(2)	(3)			
<p>多言語で対応する「外国人のための1日相談サービス」を実施した。また、(公財)大阪府国際交流財団の大阪府外国人情報コーナー等の相談窓口について広報紙等で周知を行った。</p> <p>外国人のための1日相談サービス 平成28年6月5日(日)午前11時～午後3時 相談 3件(男性 3件 女性 0件)</p>	2	3	2	3	1	外国人市民への広報が課題	2	人権・男女参画室
<p>人権、進路選択、労働、生活等に関するさまざまな相談を受け、相談内容によって関係各課・関係機関と連携し、課題解決に向けて取り組んだ。平成28年度の相談実績は65件述べ110件となっている。(再掲IV-13-32-109)</p>	1	3	1	1	1	相談窓口の周知を図り、実施する。	2	人権・男女参画室
<p>・DV被害者が外国人の場合、大阪府女性相談センター外国人専用電話を案内し、ニーズに応じてつなぐ。 ・外国人の相談窓口について、本市の「配偶者等からの暴力被害者支援対応マニュアル」に(財)大阪府国際交流財団が実施する「外国人のための相談窓口」を記載し、庁内に向け情報提供を行った。</p>	1	2	2	1	2	電話相談での情報提供及び、庁内の支援体制の強化を図る等、途切れない支援ができるよう努める。	2	人権・男女参画室

施策⑨ 相談員の研修の充実

No	事業
111	<p>相談に携わる職員等に対し、セクシュアル・ハラスメント等に関する関連法令や情報提供、対人援助技術の習得や関係機関の交流等、資質の向上のための研修を実施します。</p> <p>◆保護者支援のための研修の充実 ◆高齢者権利擁護推進事業 ◆研修の実施</p>

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1. 進んだ 2. やや進んだ 3. 現状維持 4. 進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
			(1)	(2)	(3)			
<p>保護者支援についての学ぶことができる研修を実施した。</p> <p>・気になる子どもの理解と支援・・・小田浩伸氏 ・保育園・幼稚園での支援・・・椎葉寛子氏 ・親って?! 私も大切子どもも大切 保護者のエンパワメントのために・・・栗本敦子氏 ・気になる子どもへのかかわり方や保護者支援について・・・松久眞実氏</p>	2	3	1	1	1	研修を通し、人権についての意識を深めることが出来た。	2	こども未来室

<p>高齢者虐待防止について、専門職や市民に対して普及啓発や研修等を行い、予防対策、早期発見、早期対応及び再発防止を行う。研修、チラシの作成。</p> <p>開催研修:「高齢者権利擁護研修」平成29年3月3日 14時～16時 高齢者の人権や虐待について理解を深めるとともに、安心して生活できるまちづくりに向けて共に考える研修会。 参加人数:計29名(内訳:女性21名、男性8名)</p>	2	3	1	1	1	<p>チラシを作成し、専門職や市民に向けて周知啓発を行うことにより予防対策、早期発見に働きかけることができた。一時的な取り組みにならないために継続した啓発が必要。</p>	2	高齢介護室
<p>・電話相談員に対し相談員としての資質向上を図るため、電話相談員研修会(1回/月)を実施した。 ・和泉市配偶者等からの暴力対策連絡会議担当者と、その他、市民窓口対応に携わる職員等対象にDV防止研修会を開催。 テーマ:「DVについての正しい理解 ～被害者への支援と適切な対応について～」 開催日:平成29年2月3日 参加人数:35人</p>	1	1	1	1	1	<p>引き続き、資質向上に努める。</p>	2	人権・男女参画室
<p>人権擁護委員研修 日時:平成28年10月28日 内容:フィールドワーク「和泉市の伝承文化と人権」 講師:NPO法人ダッシュ</p>	2	3	3	1	1	<p>多岐にわたる人権課題について理解を深めることができた</p>	2	人権・男女参画室

施策⑭ 人権侵害の相談・救済の充実

No	事業
112	<p>法律相談、人権擁護委員による相談等、人権侵害等に関する相談窓口の充実に努めます。 ◆法律相談◆人権相談</p>

- 【今年度の事業の実施度】
 1.男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
 3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
 4.実施していない。
- 【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
 1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
 (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
 (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
 (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
<p>市民の権利擁護、財産の保護及び市民が安心して暮らすことができるまちづくりに資することを目的とする無料法律相談については、遺産・相続等の民事相談で679件(男271件、女408件)、交通事故相談で5件(男3件、女2件)、サラ金関連相談で4件(男3件、女1件)、消費者問題相談で2件(女2件)、遺言相談で11件(男8件、女3件)、刑事相談で6件(男5件、女1件)の計707件の相談を受け、問題解決に向けて専門的な助言を行った。</p>	2	3	3 1 1	<p>成果として、アンケートを実施した結果、「内容がよかった」「対応がよかった」「相談時間がちょうどよい」といった回答が90パーセント程度あり、満足度が高かったことが確認された。</p>	2	福祉総務課
<p>人権擁護委員による人権相談を20回実施(毎月第1、3月曜日の午後1時30分～午後3時30分) 特設相談を3回実施(憲法週間・人権擁護委員の日・人権週間)</p>	1	3	3 1 1		2	人権・男女参画室

施策⑮ DV防止対策の推進

No	事業
113	<p>DV防止基本計画に則り、総合的・計画的に推進します。</p>

- 【今年度の事業の実施度】
 1.男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
 3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
 4.実施していない。
- 【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
 1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
 (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
 (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
 (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
<p>DV防止基本計画の事業について、関係各課(室)と連携し、被害者の支援を行った。</p>	1	2	2 1 1	<p>引き続き、DV防止基本計画を推進する。</p>	2	人権・男女参画室